

資 料

1 創設経緯の概要

年月日	経緯
47. 6. 1	中田富山県知事が富山大学に対し、医学部設置について要望した。
6	富山県知事が文部省に対し、医学部設置について要望した。
6. 8	富山県庁内に国立富山大学医学部誘致推進本部を設置した。
6. 22	国立富山大学医学部誘致期成同盟会が結成された。
6	富山県知事が文部省、厚生省、および自治省に対し、医学部の創設について要望した。
7	期成同盟会が富山大学に対し、医学部設置について要望した。 富山県知事が金沢大学に対し、医学部誘致に関して協力方を要請した。 富山県知事及び金沢大学医学部長が新潟大学及び千葉大学に富山県の医学部誘致に協力方を要請した。 期成同盟会会長が、田中総理、自民党4役、文部省等に対し、医学部設置について要望した。
8	富山市議会自民クラブが富山市西金屋及び同市杉谷を医学部候補地として協力する旨知事に申し入れた。
9	富山県が医学部誘致問題懇談会（金沢、新潟、千葉の医学部長及び病院長を招へい）を開催し、教官確保を依頼するとともに、関連教育病院整備について協議した。富山市杉谷から県に対し、同総代及び土地所有者95名の連署押印をもって、同用地提供に同意する旨の同意書が提出された。
	富山市議会が、富山市に医学部を設置されたい旨の決議をした。
10	富山大学医学部設置検討委員会が開催された。
11	富山県知事が、文部省、厚生省及び大蔵省関係者に対し、医学部設置について要望した。 富山市富山大学医学部設置期成同盟会設立総会が開催された。
12	富山県知事から、富山市及び婦中町に対し、医学部用地の取得について協力方を依頼した。 富山県知事が、文部大臣に対し、医学

年月日	経緯
	部設置について要望した。
48. 3.	富山県知事が、文部省、自民党関係者に対し、医学部設置について要望した。
6. 12	国立富山大学医学部誘致期成同盟会を国立富山医科大学誘致期成同盟会、国立富山大学医学部誘致推進本部を国立富山医科大学誘致推進本部に改称した。以後、単科の医科大学の誘致運動に切替えた。
12. 28	49年度予算案が閣議決定され、富山県のほか島根、高知、大分、佐賀の各県の医科大学（医学部）の創設準備費が計上された。
49 3. 20	文部省大学学術局長から富山県に国立の医学教育機関を創設するための準備事務の委嘱について富山大学長に依頼があった。
3. 25	上記の準備事務の委嘱方依頼に対し、同意する旨富山大学長より回答された。
4. 3	文部大臣裁定による「富山県、島根県、高知県、佐賀県及び大分県における国立医学教育機関、徳島大学歯学部及び千葉大学看護学部の創設準備組織要項」が制定された。
4. 26	富山大学評議会を開催 学長から、文部大臣裁定により富山大学に富山県に置かれる国立医学教育機関の創設準備に関する事務を処理するため、創設準備室を置くことになる旨の報告があった。
6. 3	第4回富山市「国立富山医科大学設置」期成同盟会総会が開催された。 （富山大学長、同事務局長出席）
6. 10	富山県に置かれる医学教育機関設置予定地（富山市杉谷）の実地調査及び事情聴取があった。 （文部省斉藤医学教育課長ほか）
6. 25	設置予定地の実地調査及びエネルギーサプライの引込工事並びに地元協力について事情聴取があった。 （名古屋工事事務所専門職員ほか） 富山県知事公室に出席を求め、現在までの進行状況、特に用地取得について

年月日	経緯
49. 7. 5	事情聴取があった。 富山大学部局長懇談会を開催 学長から国立医学教育機関創設の方向として「富山医科薬科大学」とする構想につき薬学部及び和漢薬研究所の意向が問われた。
7. 12	設置予定地の実地調査及び土木関係特に整地、レイアウト、進入路、排水計画の事情聴取があった。 (文部省野村技術参事官ほか)
7. 19	富山大学大学院薬学研究科委員懇談会を開催 1 薬学部長から「富山医科薬科大学」構想の経緯について報告 2 「富山医科薬科大学」構想について審議するため、7月22日薬学部と和漢薬研究所の合同教授会を開催することになった。
7. 22	富山大学薬学部、和漢薬研究所合同教授会を開催 1 特に学長が出席し、「富山医科薬科大学」構想の経過説明があった。 2 審議の結果、7月25日に再び合同教授会を開催し審議することになった。
7. 23	富山大学和漢薬研究所教官懇談会を開催 1 和漢薬研究所長から「富山医科薬科大学」構想の経緯について報告 2 「富山医科薬科大学」構想について審議するため、7月25日薬学部と和漢薬研究所の合同教授会を開催することになった。
7. 23	富山大学評議会を開催 1 富山県に置かれる国立医学教育機関創設準備室長として、金沢大学医学部平松 博教授を推薦することにした旨報告、了承された。 2 国立医学教育機関設置に関し臨時評議会を7月26日に開催することになった。
7. 25	富山大学薬学部、和漢薬研究所合同教授会を開催 「富山医科薬科大学」構想について審議の結果、7月26日に合同教授会を開催し継続審議することになった。
7. 26	富山大学薬学部、和漢薬研究所合同教

年月日	経緯
	授会を開催 審議の結果「富山医科薬科大学」創設に参加する方向で努力することになった。
7. 26	富山大学臨時評議会を開催 1 「富山医科薬科大学」構想について薬学部長から合同教授会の審議経過の説明があった。 2 審議の結果各学部を持ち帰り、各教授会で報告のうえ意思を確認し、次回の評議会で継続審議することになった。
7. 31	富山大学臨時評議会を開催 1 各学部教授会に諮った結果について順次報告があった。 2 審議の結果「富山医科薬科大学」構想が了承された。
8. 2	文部省岩間事務次官が予定地を視察した。
8. 6	国立富山医科薬科大学誘致期成同盟会(会長中田富山県知事)第3回総会と財団法人富山医科薬科大学協力会設立総会が県民会館で開催された。
8. 6	稲葉自民党文教委員長、藤波文部政務次官が予定地を視察した。
8. 8	第1回国立医学教育機関創設準備委員会(以下「創設準備委員会」という。)を開催 国立医学教育機関創設準備委員会要項を定めた。
8. 13	創設準備事務の所要経費について富山県(知事公室)側に説明、協力を依頼した。
8. 14	創設準備所要経費のうち特に創設準備室の要員について協力方富山県に依頼した。
8. 16	平松金沢大学教授(医学部)を富山大学国立医学教育機関創設準備室長に併任する発令があった。 小林新潟大学教授(医学部)山崎、大浦富山大学教授を創設準備委員会委員に委嘱した。 加藤富山大学経営短期大学部事務長を富山大学国立医学教育機関創設準備室事務長に配置換する発令があった。
8. 23	設置予定地調査及び県道有沢西二俣線と進入路、南進入路、職員宿舍敷地、仮校舎及び関連教育病院について事情聴取があった。(名古屋工事事務所)

年月日	経緯
49. 8. 29	<p>長補佐(ほか)</p> <p>第2回創設準備委員会を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 富山大学事務局長から、大臣裁定要項学長裁定要項の説明会及び創設準備の経過概略表によりこれまでの経過報告があった。 2 学長から「富山医科薬科大学」構想案の説明があった後、今後の問題点について意見交換を行った。 3 和漢薬研究所長から和漢薬研究所の将来計画についての説明があった。 4 講座数とその内容、和漢薬研究所と附属病院との関係、薬草園の移転問題等について各委員から意見がだされたが随時準備委員会を開催し、結論をだすことになった。 5 事務局長から設置予定地(365,622㎡)の現状について説明があった。 6 予定地面積365,622㎡のうち有効面積が約270,000㎡と考えられるので新構想大学としての必要面積、薬草園が移転する場合の必要面積、将来計画に要する面積等を充分計画をたてたうえ効率的に利用すべきであることで意見の一致をみた。 <p>終了後、設置予定地を視察した。</p>
9. 2	<p>文部省の招集により国立医学教育機関創設準備打合せ会あり</p> <p>(教育会館にて準備大学の学長、準備室長、事務局長、準備室事務長出席)</p>
9. 6	<p>富山大学評議会を開催</p> <p>学長から、8月8日に第1回の国立医学教育機関創設準備委員会を開催し、創設準備委員会要項を定めたこと、8月16日付で平松金沢大学教授が創設準備室長に併任発令されたこと、小林新潟大学教授及び山崎、大浦富山大学教授を創設準備委員会委員に委嘱したことの報告があった。</p> <p>また、第2回創設準備委員会を8月29日に開催した旨報告があった。</p>
9. 17	<p>第3回創設準備委員会を開催(基本構想について審議)</p>

年月日	経緯
	<ol style="list-style-type: none"> 1 富山大学事務局長から9月2日文部省で開催された創設準備打合せ会の内容について説明があった。 2 次の諸点について意見の一致をみた。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医学部の講座数を30講座とする。 (2) 薬学部は現在14講座であるが将来20講座としたい。 (3) 一般教育は分離せず一貫教育構想で検討する。 (4) 関連教育病院は県立中央病院1か所とする。 (5) 医学部の講座の内容について平松室長試案がだされ次回までに検討することになった。
10. 4	<p>富山県の主催により国立富山医科薬科大学創設準備特別委員の会合があった(東京)。</p>
10. 7	<p>第4回創設準備委員会を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 名古屋工事事務所所長補佐から、今後の創設準備計画と名古屋工事事務所としての予定について詳細な説明があった。 2 審議の結果、次のことがほぼ了承された。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医科、薬科の学生受入れは同時期である。 (2) 医科、薬科の入学定員 医科は100人(将来120人) 薬科は120人(現在105人) <p>参考 { 現講座数14 将来18~20 現学科数2 " 3 }</p> <ol style="list-style-type: none"> (3) 一般教育は一貫教育で行う。(教養部は設けない。) (4) 専門課程は医科、薬科に分ける。ただし、医薬共通のカリキュラムを検討する。 (4) 各委員から次のことが問題点として提起された。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学部機構の在り方 ○ 講座と診療科の問題 ○ 中央検査部の範囲と組織 ○ アイソトープ関係 ○ 薬科ドクターコースの問題 ○ 医療技術短大の構想 ○ 看護学校の問題 ○ 薬草園の場所と面積

年月日	経緯
49.10.16	衆議院文教委員調査班来県。県庁にて富山医科薬科大学創設準備に関し事情聴取の後、富山大学薬学部及び和漢薬研究所を視察
10.17	第5回創設準備委員会を開催 1 審議の結果、次のことが了承された。 (1) 学部、研究所は解体しない。ただし、内容、運営方法を具体的に検討する。 (2) 副学長制をとる。参与制は当分とらない考えていくが開学時に検討する。 (3) 教養部はつくりたくない。教官組織（一般、専門）で一般教育運営協議会を設置する。一般教育担当教官定員の振替の問題は将来の富山大学の発展的段階で考慮する。教育課程は一貫教育とする。例の楔形とする。 (4) 大講座制をとる。 (5) 医学、薬学とするが、医薬共通の分野もある。 (6) 病院は大学の附属病院とする。中央診療施設として検査部、放射線部、材料部、診察部、レントゲン部等を設ける。 (7) 関連教育病院は県立中央病院とし、大学附属病院とともに組織委員会を設けて審議する。 (8) 大学院の教育研究組織は医・薬一体とする。医学は4年制60人、薬学は5年制40人、和漢研は5年制10人を目途とする。 (9) 富山大学から薬学部、和漢薬研究所の移管は年次計画による。大学院薬学研究科の移管は昭和51年4月としたい。
10.21	名古屋工事事務所長が、県、市関係者を招集し、協力態勢について事情聴取（富山大学）。
10.25	文部省関係者と創設準備委員との打合せ会（大学局会議室）
10.31	第6回創設準備委員会開催 1 名古屋工事事務所長から、10月

年月日	経緯
	22日地元の協力態勢について県、市の関係者を招いて事情聴取をしたことについて内容の説明があった。 2 講座名（数）について第3回目の平松室長試案が出され、長時間にわたり審議が行なわれたが結論に至らず次回に再審議することになった。 3 小林委員及び和漢薬研究所長が創設準備調査のため、他大学（5大学）及び厚生省に出張することが了承された。
11.18～19	第7回創設準備委員会を開催 1 小林委員及び和漢薬研究所長から、過日創設準備調査のため出張した結果について報告があった。 2 基本構想全般について具体的に審議が行なわれた。第7回まで審議された基本線を踏まえながら草案作成作業に入った。作成した草案に対する審議は11月19日に持ち越した。 3 11月19日、前日作成した草案に基づき審議の結果、それぞれの内容に修正を加え、その成案が第1次会議資料となった。 4 第1次会議資料でなお説明不充分なところがあるので各準備委員に分担して草案原稿を作成依頼し次回において審議することになった。 5 組織図（案）、富山医科薬科大学（仮称）職員組織（案）について事務局で作成し次回において審議することになった。
11.25～27	第8回創設準備委員会を東京都港区富山県赤坂会館において開催 1. 名古屋工事事務所長及び金沢大学施設部長から、現段階でのレイアウトの説明があった。 2 「富山医科薬科大学」の構想の第1次会議資料（以下「会議資料」という。）及び新たな草案に基づき逐一審議に入り、その結果第2次会議資料成案として了承された。 3 11月26日文部省と打合せした結

年月日	経緯
49.12.3	<p>果により第2次会議資料に基づき逐一審議に入り、その結果第3次会議資料成案として了承された。</p> <p>第9回創設準備委員会を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 富山大学事務局長から第3次会議資料をその後事務的に修正した内容について説明があり了承された。(修正した資料は第4次会議資料となった。) 2 第4次会議資料に基づき逐一審議に入り、その結果第5次会議資料成案として了承された。 3 副学長3人を置くこととして検討することとなった。 4 事務部は原則として3部6課制をとることとして事務局が中心となって案を作成することになった。
12.4	富山大学長、準備室長上京、富山医科薬科大学創設実現を期し、衆議院文教委員に陳情を行う。
12.16～17	設置予定地の実地調査及び協力事業関係敷地、宿舍予定地、仮校舎、関連教育棟県立中央病院の視察があり富山県知事公室が説明した。(文部省教育施設部名古屋工事事務所ほか)
12.19～20	<p>第10回創設準備委員会を東京都港区富山県赤坂会館において開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 富山大学事務局長から富山医科薬科大学施設基本計画(昭和49年12月5日金沢大学施設部長試案)に基づき昭和49年12月10日文部省教育施設部において打合せした結果について報告があった。 2 第5次会議資料に基づき逐一審議に入り、その結果第6次会議資料成案として了承された。 3 11月20日文部省と打合せした結果により第6次会議資料に基づき逐一審議に入り、その結果第7次会議資料成案として了承された。
12.27	<p>第11回創設準備委員会を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 12月25日文部省と第7次会議資料に基づき事務打合せをした結果示唆のあった点について説明を行った。 2 第7次会議資料に基づき逐一審議に入り、その結果第8次会議資料

年月日	経緯
50.1.7～9	料成案として了承された。
1.11	富山大学長以下創設準備委員全員上京、富山医科薬科大学創設実現を期し、関係者及び関係機関に陳情を行う。
1.14	<p>富山医科薬科大学創設(50年10月開学)の予算案が閣議決定された。</p> <p>第12回創設準備委員会を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 富山大学事務局長から次のとおり報告があった。 1月11日子算内示資料として示された「医科大学の創設、創設準備に伴う定員措置」の概要について 2 文部省から説明を求められた事項として(1)大講座制の問題 (2)欠陥講座(従来の$\frac{1,1,2}{1,1,3}$パターンでないもの) (3)薬学部講座群 (4)和漢薬研究所各部門について各委員が分担して草案を作成、その草案について審議した結果、一部修正のうえ了承された。 3 「薬学系大学院の発足、和漢薬研究所の移管、和漢薬研究所大学院の教育」の内容については次回までに山崎薬学部長、大浦和漢薬研究所長に原案作成を一任した。
1.17	富山大学和漢薬研究所教授会を開催 和漢薬研究所長から和漢薬研究所の移管について説明があり、審議の結果、昭和53年4月に移管することが了承された。
1.20	<p>第13回創設準備委員会を文化庁第二会議室及び東京都港区富山県赤坂会館において開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前回の会議において審議の結果了承された説明書(今回から「医学教育の講座編成の特色」という標題にした。)を文部省に提出した結果、説明不十分である旨示唆のあった事項について平松室長及び小林委員の草案に基づき審議した結果一部修正のうえ了承された。(了承された内容を直ちに文部省に提出した。) 2 「医学教育の講座編成の特色」についての説明書及び第8次会議資料に基づき文部省から示唆のあった点について審議した結果、修正案及び新しい講座案がだされそれぞれ了承された。その結果第8

年 月 日	経 緯
	次会議資料は第9次会議資料となった。
	3 副学長制については取りあえず2名を置き、更に1名増やすことを検討することになった。
	4 参与制をとることになった。ただし、筑波方式とはならない。
	5 医学部の発足、薬学部及び和漢薬研究所の移管（廃止、設置）ならびに大学院薬学研究科発足の時期について審議の結果医学部の発足（50年10月開学、51年4月学生受入）及び薬学部の発足（51年4月学生受入）は異論なく、結論に至らなかった事項については大学に持ちかえりそれぞれの機関に諮り、その結果を1月27日までに文部省に報告することになった。
50.1.20～ 21	文部省関係者と創設準備委員との打合せ会（文部省体育局会議室及び特別会議室）
1.22	大学設置審議会医学専門委員会が国立教育会館において開催され、富山医科薬科大学の基本構想等が議せられたが継続審議となった。
1.24	富山大学薬学部教授会を開催 1 薬学部講座の移行年次計画について審議の結果、51年4月以降4.4.4.2の順で移行することが了承された。（後に3.4.5.2の順に変更された） 2 医学部の発足、薬学部の発足（移管）及び和漢薬研究所移管の時期について薬学部長から説明があり審議の結果了承された。
1.25	富山大学大学院委員会を開催 富山医科薬科大学創設に伴う富山大学大学院薬学研究科の移管（廃止及び富山医科薬科大学の大学院設置）について学長及び薬学研究科長からそれぞれ説明があり、審議の結果、昭和53年4月に移管することが承認された。
1.27	富山大学臨時評議会を開催 富山医科薬科大学創設に伴い医学部の発足、薬学部の発足（移管）、和漢薬研究所ならびに大学院薬学研究科の移管（廃止設置）について学長及び薬学部長から説明があり、審議の結果了承された。

年 月 日	経 緯
1.29	富山大学薬学部教授会を開催 先きに了承された講座の移行年次計画について文部省から2.4.6.2で移行できないかと照会があり、審議の結果3.4.5.2の移行年次計画案が了承された。
2.12	第14回創設準備委員会を開催 1 富山大学事務局長から次のとおり報告があった。 国立学校設置法の一部を改正する法律案要綱（案）について 2 第9次会議資料について一部修正案がだされ審議の結果了承された。その結果第9次会議資料は第10次会議資料となった。 3 「医学教育の講座編成の特色」について、各委員からの修正案に基づいて審議の結果了承され最終案となった。
2.19	富山大学長以下創設準備委員全員上京、富山県赤坂会館において会合し、2月20日文部省と打ち合わせるための次の資料を作成した。 1 2月28日開催の大学設置審議会医学専門委員会における配布資料について (1) 富山医科薬科大学の基本構想 (2) 医学部教官組織 (3) 専門教育科目の授業科目及び授業時間数 (4) 講座編成の特色
2.20	文部省医学教育課と富山大学長以下創設準備委員全員と打合せ会を開催（文部省大学局会議室） 2月19日作成した配布資料案（(1)～(4)）に基づき打合せの結果双方了承した。
2.28	大学設置審議会医学専門委員会が国立教育会館において開催され、継続審議となっていた富山医科薬科大学の基本構想等が審議され承認された。
3.4	第15回創設準備委員会を開催 1 富山大学事務局長から、2月28日の大学設置審議会医学専門委員会において富山医科薬科大学の基本構想等が承認された旨の報告があった。 2 教員募集の基本方針について審議の結果、公募することになり具

年月日	経緯
	<p>体的な事項は次回の創設準備委員会において決定することになった。</p> <p>3 教員人事の審議機関として医学関係専門委員会と一般教育関係専門委員会を設置することが了承された。</p>
50. 3. 10	<p>第16回創設準備委員会を開催</p> <p>1 教員募集要項(案)の内容について逐一審議の結果一部修正のうえ了承された。</p> <p>2 学長から富山大学教員の停年に関する規則の特例に関する規則を制定し、国立医学教育機関創設準備室に任用する教員には適用しないことにしたい旨提案があり異議なく了承された。</p> <p>3 第10次会議資料について一部修正案がだされ審議の結果了承された。その結果第10次会議資料は第11次会議資料となった。</p>
3. 14	<p>富山大学評議会を開催</p> <p>1 富山大学教員の停年に関する規則の特例に関する規則(案)が原案どおり承認された。</p> <p>2 金沢大学医学部平松博教授を昭和50年4月1日付けをもって富山大学教授(専任)に任用することが承認された。</p>
3. 17	富山医科薬科大学施設計画打合せ会を開催(名古屋工事事務所長ほか)
3. 18	富山医科薬科大学施設計画について創設準備委員と施設関係者との打合せ会を開催(名古屋工事事務所長ほか)
3. 20	富山医科薬科大学教員推せん方依頼の公文書発送(公募はじまる)
3. 25	<p>第18回創設準備委員会を開催</p> <p>1 富山大学教育学部金子助教授を一般教育担当教授(創設準備室付)に任用することが承認された。</p> <p>2 富山大学薬学部木村教授を創設準備室付教授に任用することが承認された。</p> <p>3 富山医科薬科大学創設準備組織要項(案)が原案どおり承認された。</p>
3. 27～28	富山大学学長以下創設準備委員全員と事務関係者との打合せ会を開催し、創設準備のスケジュール等について打合せ

年月日	経緯
4. 1	をした。(東京都港区富山県赤坂会館)山口大学大島経理部長が大臣官房付(富山医科薬科大学事務局長予定者)に任命された。(4.2創設準備室付に併任発令)
4. 2	<p>1 文部大臣裁定による「富山医科薬科大学・島根医科大学及び千葉大学看護学部ならびに高知県、佐賀県及び大分県に置く国立医学教育機関ならびに徳島大学歯学部の創設準備組織要項」が制定された。</p> <p>2 富山大学学長裁定による「富山医科薬科大学創設準備組織要項」が制定された。</p> <p>3 富山大学平松教授(創設準備室付)を富山医科薬科大学創設準備室長事務取扱に併任する発令があった。</p> <p>4 大島商船高等専門学校田口会計課長が創設準備室主幹に任命された。</p>
4. 14	<p>第19回創設準備委員会を開催</p> <p>富山大学長の急病のため審議事項に入れず、富山大学事務局長から報告事項について報告があった後、教員選考基準等について懇談した。</p>
4. 21	<p>富山医科薬科大学施設計画打合せ会を開催</p> <p>なお、会議の前に設置予定地を約2時間にわたって視察。(名古屋工事事務所長ほか)</p>
4. 22	国立学校設置法の一部を改正する法律(富山医科薬科大学設置が含まれている)が公布され同日付施行された。
4. 24	文部省の招集により富山医科薬科大学事務打合せ会が国立教育会館で開催された。(文部省大学局長、富山大学学長、富山県副知事ほか)
5. 1	富山大学平松教授(創設準備室長事務取扱併任)を富山医科薬科大学創設準備室長に併任する発令があった。
5. 22～23	第23回創設準備委員会において、医学教育教官選考の結果について、平松室長から報告があり採用内定者が承認された。
6. 19～20	学識経験者及び文部省関係官による実地調査が行われた。(学識経験者：懸田順天堂大学学長、赤倉国立栃木病院長、諏訪東北大学医学部長)
7. 7～8	<p>第28回創設準備委員会を開催</p> <p>1 一般教育教員の選考結果につい</p>

年 月 日	経 緯
	て採用内定者が承認された。
	2 富山医科薬科大学開学連絡会議設置要項(案)が承認された。
	3 関連教育病院(県立中央病院)との協定書(案)及び暫定施設使用についての覚書(案)が了承された。
50. 8. 7	第30回創設準備委員会において副学長(医療担当)が選出された。
9. 8	第33回創設準備委員会において参与及び副学長(教育研究及び厚生補導担当)が選出された。
9. 30	富山医科薬科大学創設準備委員会が廃止された。 富山医科薬科大学創設準備室が廃止された。

年 月 日	経 緯
10. 1	国立学校設置法の一部を改正する法律(50年法律第27号)により富山医科薬科大学に関する規定が施行され、同大学が発足した。事務局は富山県立総合衛生学院に置かれた。 第1回創設委員会を開催 富山医科薬科大学創設委員会要項が了承された。
10.12.~ 13	大学設置審議会の実地調査が行われた。(委員:伊藤静岡薬科大学長, 懸田順天堂大学長, 田村東大病院薬剤部長, 山村東大教授)
10. 30	大学設置審議会医学専門委員会において教官審査が行われた。
51. 4. 14	富山医科薬科大学の第1回入学式が行われた。

2 年 譜

年月日	記 事
49. 3 .20	文部省大学学術局長から富山大学長に対し、富山県に国立の医学教育機関を創設するための準備事務の委嘱について依頼（3.25同依頼に同意の旨回答）
7. 31	富山大学臨時評議会において「富山医科薬科大学」構想を了承
8. 8	富山大学が学長裁定により国立医学教育機関創設準備委員会要項を定め国立医学教育機関創設準備委員会を設置〔委員長 林 勝次富山大学長(8.16)〕
8. 16	富山大学国立医学教育機関創設準備室設置 平松 博（金沢大学医学部教授） 準備室長に併任
9. 10	文部省大学局長から金沢大学長に対し、富山医科薬科大学の創設に関する施設関係準備事務の委嘱について依頼（9.24同依頼に同意の旨回答）
50. 2 .28	大学設置審議会医学専門委員会が富山医科薬科大学の基本構想等を了承
4. 2	平松 博（富山医科薬科大学創設準備室教授） 富山医科薬科大学創設準備室長事務取扱に併任
5. 1	平松 博 富山医科薬科大学創設準備室長に併任
10. 1	富山医科薬科大学開学（国立学校設置法の一部を改正する法律（昭和50年4月22日法律第27号）施行）、医学部(医学科)、附属図書館設置 平松 博（富山医科薬科大学創設準備室長） 学長に就任 小林 收（新潟大学医学部教授） 副学長（医療担当）に就任 山崎高應（富山大学薬学部教授） 副学長（教育研究及び厚生補導担当）に就任 平松 博（学長） 附属図書館長事務取扱に就任 富山医科薬科大学長と富山県知事の間で関連教育病院（富山県立中央病院）に関する協定を締結 事務局を富山県立総合衛生学院校舎内（富山市西長江220番地）（暫定校舎）に置く
10. 12～ 13	大学設置審議会による実地調査

年月日	記 事
51. 3 .26	事務局を暫定校舎から富山県立中部高等学校旧校舎（富山市芝園町3-2-11）（仮校舎）に移転
4. 1	薬学部（薬学科、製薬化学科）設置（富山大学から移行） 医学部8講座開設（解剖学、生理学、生化学、病理学、細菌学・免疫学、内科学、外科学、産科婦人科学） 薬学部3講座開設（富山大学薬学部から移行：薬化学、薬品作用学、薬品物理化学） 学科目11科目開設（哲学、歴史学、法学、心理学、数学、物理学、化学、生物学、英語、独語、保健体育） 小林 收（副学長） 医学部長事務取扱に就任 山崎高應（副学長） 薬学部長事務取扱に就任
4. 14	第1回入学式挙行
5. 27	開学記念祝典挙行
52. 3 .28	廃水処理施設管理室竣工（92m ² ）
3. 29	福利厚生棟竣工（1,984m ² ）
3. 30	講義実習棟（6,987m ² ）、解剖棟（917m ² ）、体育館（1,535m ² ）、廃水処理施設前処理棟（273m ² ）竣工
4. 1	医学部2講座増設（薬理学、小児科学） 薬学部4講座増設（富山大学薬学部から移行：薬品分析化学、生薬学、薬品合成化学、生物薬品製造学）
52. 4 . 9	事務局を仮校舎（富山県立中部高等学校旧校舎）から福利厚生棟に移転
4. 18	附属病院創設準備室設置 小林 收（副学長） 附属病院創設準備室長に就任 薬学部附属薬用植物園設置
6. 18	しらゆり会富山医科薬科大学支部設立
11. 5	第1回献体物故者追悼法要挙行
12. 24	エネルギーセンター竣工（2,403m ² ）
53. 3 .28	医学部研究棟（第1期工事）竣工（12,332m ² ）
3. 30	慰霊碑竣工
3. 31	放射性同位元素実験施設、実験動物施設竣工（1,784m ² ）
4. 1	医学部6講座増設（ウイルス学、公衆

年月日	記 事
	衛生学, 法医学, 精神神経医学, 放射線医学, 整形外科学) 薬学部の学科及び講座を改組 薬科学科 薬剤薬理学, 臨床分析学, 医薬品化学, 衛生・生物化学, 薬用資源学, 物理薬剤学 (富山大学薬学部から移行: 薬剤学, 環境衛生分析学, 薬剤製造学, 薬品製造工学, 薬品製造化学)
53. 4. 22	慰霊碑除幕式举行
6. 17	大学院薬学研究科博士課程(医療薬科学専攻)設置 和漢薬研究所(資源開発, 生物試験, 臨床利用, 病態生化学, 化学応用)設置(富山大学から移行) 平松 博(学長) 和漢薬研究所長事務取扱に就任
8. 1	増田克忠 薬学部長に就任
54. 2. 1	難波恒雄 和漢薬研究所長に就任 辻 陽雄(医学部教授) 附属図書館長に就任
2. 7	附属病院竣工(35,244m ²)
3. 2	事務局管理棟竣工(3,285m ²)
3. 23	薬学部研究棟(5,981m ²), 共同利用研究棟(2,980m ²)竣工
3. 28	附属図書館竣工(2,563m ²)
3. 29	看護婦宿舎(第1期工事)竣工(2,429m ²), 弓道場竣工
3. 30	薬学部附属薬用植物園 研究棟・管理棟・温室竣工(761m ²)
4. 1	医学部5講座増設(皮膚科学, 眼科学, 耳鼻咽喉科学, 泌尿器科学, 麻酔科学) 附属病院設置, 小林 収(副学長) 病院長に就任 附属病院15診療科(第一内科, 第二内科, 皮膚科, 小児科, 神経科精神科, 放射線科, 第一外科, 第二外科, 整形外科, 産科婦人科 眼科, 耳鼻咽喉科, 泌尿器科, 麻酔科, 歯科口腔外科), 検査部, 手術部, 放射線部, 材料部, 薬剤部, 看護部設置 富山大学薬学部から衛生化学, 薬品生物化学の2講座が移行し, 移行完了 事務局を福利厚生棟から事務局管理棟に移転し, 3部8課制に改組
7. 1	小澤 光(秋田県立脳血管研究センター研究所薬理学研究部長) 副学長(教

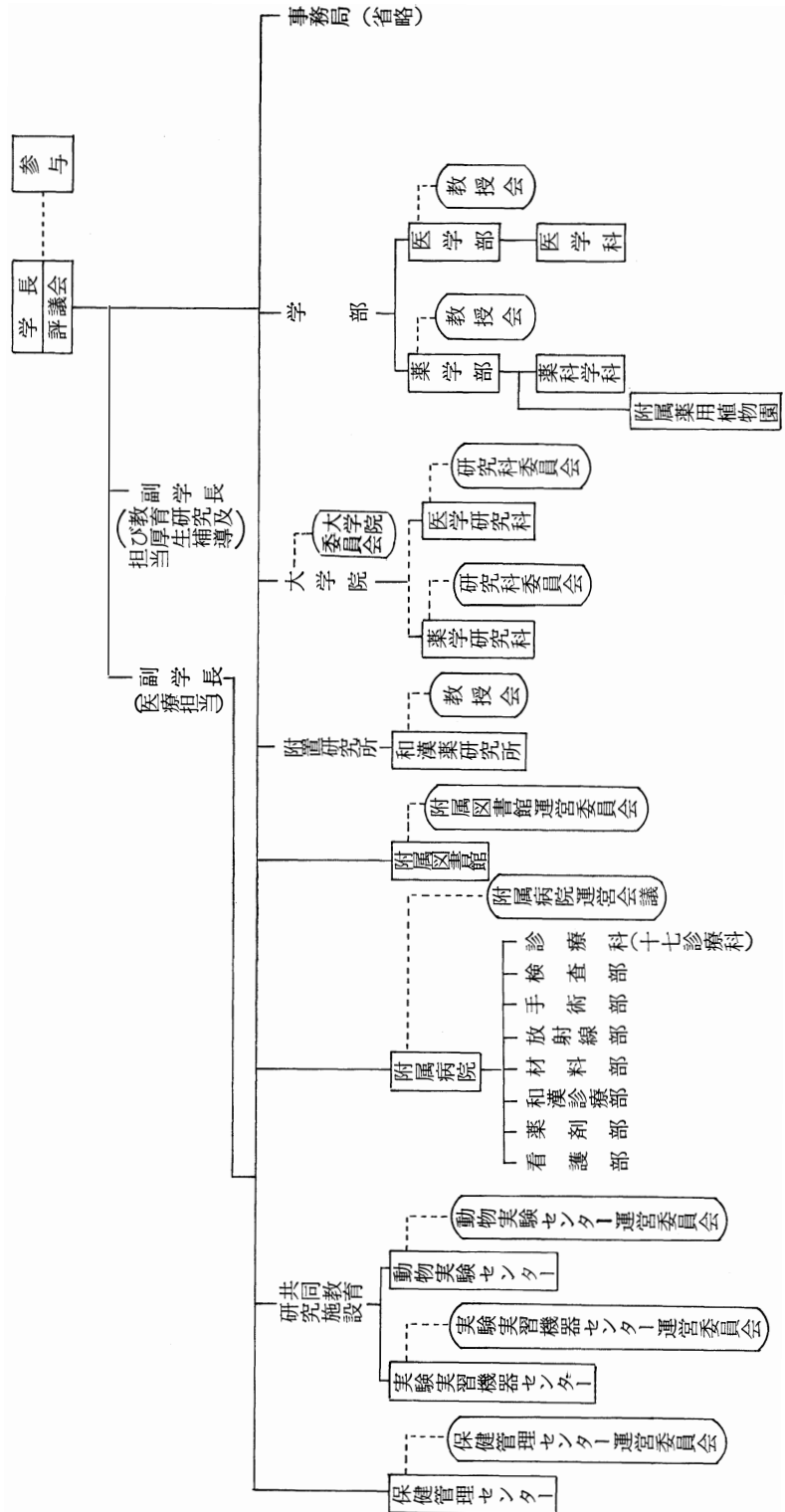
年月日	記 事
10. 10	育研究及び厚生補導担当)に就任 施設竣工ならびに附属病院開院記念式典举行
10. 15	附属病院診療開始(339床)
12. 21	第1回実験動物慰霊祭举行
55. 3. 6	看護婦宿舎(第2期工事)竣工(1,527m ²)
3. 19	和漢薬研究所研究棟竣工(2,468m ²)
3. 20	昭和54年度卒業証書ならびに学位記授与式举行(薬学部第1回)
3. 25	職員会館竣工(185m ²)
4. 1	医学部2講座増設(保健医学, 脳神経外科学) 附属病院2診療科増設(第三内科, 脳神経外科)
4. 30	附属病院東病棟竣工(4,208m ²)
8. 1	増田克忠 薬学部長に就任 大浦彦吉 和漢薬研究所長に就任
8. 19	附属病院132床増床(計471床)
56. 2. 1	矢野三郎(医学部教授) 附属図書館長に就任
3. 20	高エネルギー治療棟竣工(1,038m ²)
3. 31	看護婦宿舎(第3期工事)竣工(810m ²)
4. 1	動物実験センター設置
5. 1	附属病院151床増床(計622床)
7. 10	医学部研究棟(第2期工事)竣工(1,509m ²)
11. 1	中西頼央 医学部長に就任
57. 3. 20	昭和56年度卒業証書ならびに学位記授与式举行(医学部第1回)
3. 29	武道場竣工(335m ²)
3. 30	動物実験センター(第2期工事)竣工(914m ²)
3. 31	医学部研究棟(第3期工事)竣工(2,498m ²)
4. 1	佐々 學(元国立公害研究所長) 学長に就任 佐々 學(学長) 附属病院長事務取扱に就任 大学院医学研究科博士課程(生理系専攻, 生化学系専攻, 形態系専攻, 環境系専攻)設置
8. 1	増田克忠(富山医科薬科大学薬学部教授) 副学長(教育研究及び厚生補導担当)に就任 熊谷 朗(千葉大学医学部教授) 副学長(医療担当)に就任
8. 1	山崎高應 薬学部長に就任

年月日	記 事
58.2.1	渡辺和夫 和漢薬研究所長に就任 西 荒介(薬学部教授) 附属図書館 長に就任
3.30	放射性同位元素実験施設(第2期工事) 竣工(372m ²)
4.1	菊池 徹 和漢薬研究所長に就任 保健管理センター設置
11.1	佐々木 博 医学部長に就任
59.2.20	保健管理センター竣工(280m ²)
4.11	実験実習機器センター設置
6.27	献体者に対する文部大臣感謝状伝達式 挙行

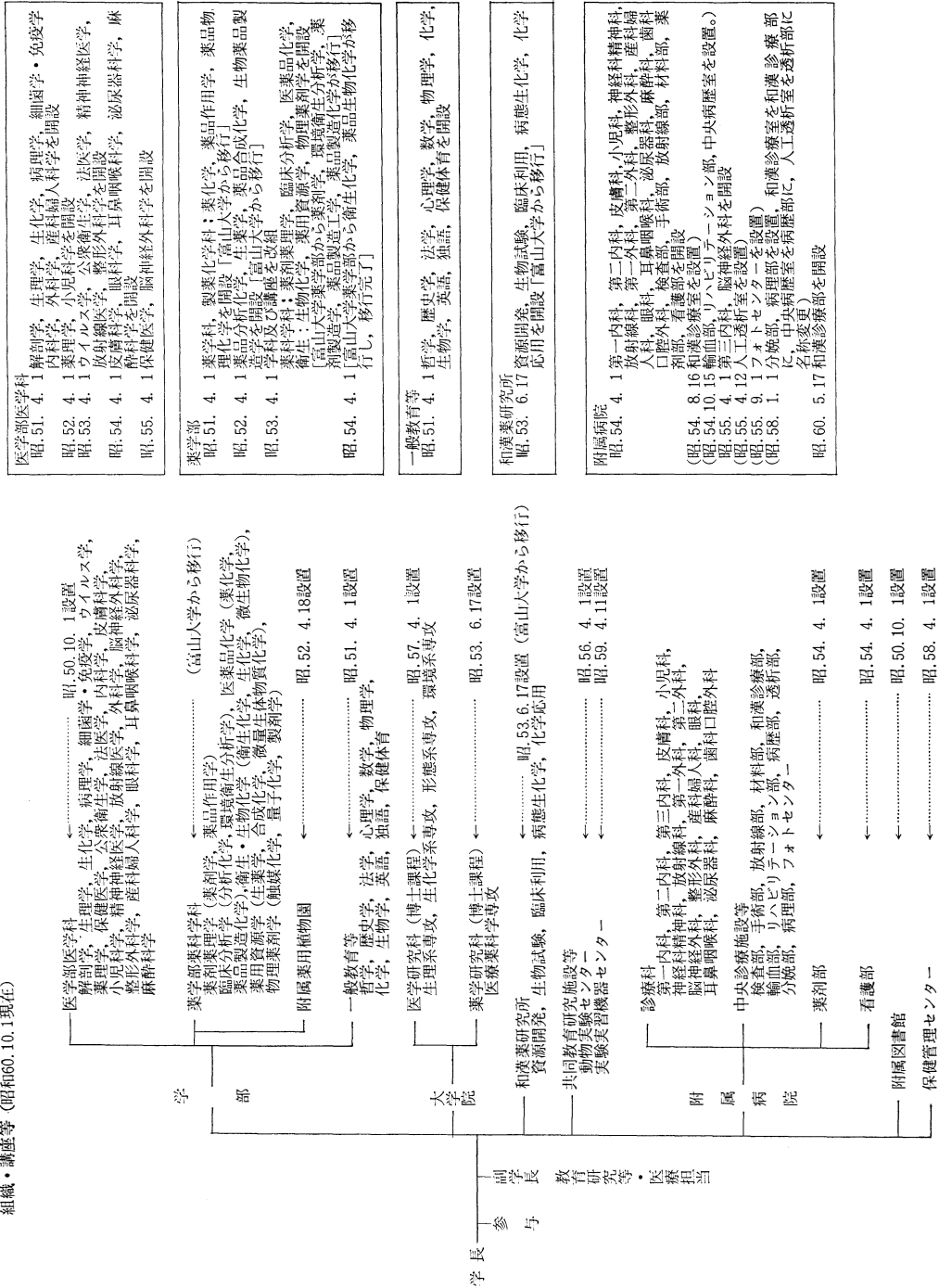
年月日	記 事
8.1	山崎高應 薬学部長に就任
60.2.1	大浦彦吉(和漢薬研究所教授) 附属 図書館長に就任
3.20	動物実験センター(第3期工事)竣工 (1,220m ²)
4.1	萩田善一 和漢薬研究所長に就任
5.10	富山医科薬科大学と瀋陽薬学院の間で 学术交流に関する協定を締結
60.5.13	附属病院病床10床減床(計612床)
5.17	附属病院和漢診療部設置
7.31	薬学研究資料館竣工(409m ²)
10.1	開学十周年記念式典挙行

3 組織講座等機構變遷表

機 構 図



組織・講座等の変遷表
組織・講座等(昭和60.10.1現在)



医学部医学科
昭和51. 4. 1 解剖学、生理学、生化学、病理学、細菌学・免疫学、
内科学、外科学、産科婦人科学を開設
昭和52. 4. 1 薬理学、小児科学、公衆衛生学、法医学、精神神経医学、
昭和53. 4. 1 ウイイルス学、整形外科科学を開設
昭和54. 4. 1 放射線医学、眼科学、耳鼻咽喉科学、泌尿器科学、麻
酔科学を開設
昭和55. 4. 1 保健医学、脳神経外科学を開設

薬学部
昭和51. 4. 1 薬理学、製薬化学科；薬化学、薬品作用学、薬品製
薬化学を開設「富山大学から移行」
昭和52. 4. 1 薬品分析化学、生薬学、食品添加化学、生物薬品製
薬学を開設「富山大学から移行」
昭和53. 4. 1 薬品製造化学、生薬学、食品添加化学、生物薬品製
薬学を開設「富山大学から移行」
昭和54. 4. 1 薬品製造化学、生薬学、食品添加化学、生物薬品製
薬学を開設「富山大学から移行」

一般教育等
昭和51. 4. 1 哲学、歴史学、法学、心理学、教育学、物理学、化学、
生物学、英語、独語、保健体育を開設

和漢薬研究所
昭和53. 6. 17 資源開発、生物試験、臨床利用、病態生化学、化学
応用を開設「富山大学から移行」

附属病院
昭和54. 4. 1 第一内科、第二内科、皮膚科、小児科、神経科、精神科、
放射線科、第一外科、第二外科、整形外科、産科婦
人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、麻酔科、歯科、薬
劑科、看護部を開設
昭和54. 8. 16 和漢診療部(設置)
昭和54. 10. 15 第三内科、脳神経外科を開設
昭和55. 4. 1 第一内科、第二内科、放射線科(設置)
昭和55. 4. 12 人工透析センター(設置)
昭和55. 9. 1 フォトセンター(設置)
昭和56. 4. 1 分娩部、病理部、透析部、
中央診療施設等(設置)
昭和58. 4. 1 和漢診療部を開設
昭和60. 5. 17 和漢診療部を開設

5 職員の定員および現員

区	分	教 官							そ の 他 の 職 員						合 計
		学 長	副 学 長	教 授	助 教 授	講 師	助 手	計	行 政 職 (一)	行 政 職 (二)	教 育 職 (一) (教務職員)	医 療 職 (一)	医 療 職 (二)	計	
50年度	定員	1	2	2				5	9					9	14
	現員	1	2	2				5	9					9	14
51年度	定員	1	2	18	17		6	44	34	4	1			39	83
	現員	1	2	18	17		5	43	32	5	1			38	81
52年度	定員	1	2	31	31		28	93	83	11	6			100	193
	現員	1	2	28	26	1	24	82	63	24	5			92	174
53年度	定員	1	2	49	48		66	166	147	17	11		1	176	342
	現員	1	2	47	41	2	60	153	114	36	8		1	159	312
54年度	定員	1	2	59	61	28	96	247	209	48	16	32	156	461	708
	現員	1	2	57	51	29	95	235	174	73	12	31	147	437	672
55年度	定員	1	2	61	63	32	114	273	240	59	16	49	211	575	848
	現員	1	2	60	55	34	114	266	208	90	13	49	204	564	830
56年度	定員	1	2	61	64	33	130	291	251	62	16	56	285	670	961
	現員	1	2	60	58	33	127	281	223	101	16	54	266	660	941
57年度	定員	1	2	61	64	33	142	303	252	66	16	57	298	689	992
	現員	1	2	58	58	31	139	289	219	104	16	56	279	674	963
58年度	定員	1	2	62	64	35	149	313	254	64	15	57	298	688	1,001
	現員	1	2	57	58	34	150	302	215	103	11	57	278	664	966
59年度	定員	1	2	62	65	35	158	323	251	64	14	58	298	685	1,008
	現員	1	2	59	57	33	153	305	221	102	12	58	276	669	974
60年度	定員	1	2	62	66	35	159	325	247	62	14	58	298	679	1,004
	現員	1	2	59	58	35	159	314	220	95	13	57	281	666	980

(備考)

・定員は年度末定員とし、現員は10月1日現在である。

6 現 職 員 名 簿

昭和60年10月1日現在

学 長 佐 々 學
副学長 増 田 克 忠
(教育研究及び
厚生補導担当)
副学長 熊 谷 朗
(医療担当)
事務局
事務局長 明 野 清 和
総務部
総務部長 山野 辺 桃 村
庶務課
庶務課長 長 田 武 雄
課長補佐 野 口 隆 一
課長補佐 塚 原 剛 一
庶務係
係 長 飯 田 憲 郷
主 任 安 念 英 憲
事 務 官 宇 井 喜 久 枝
事 務 官 村 田 靖 彦 子
技 官 山 本 雅 子
(自動車室)
技 官 田 嶋 毅
(車庫長)
技 官 尾 島 宏 幸
技 官 吉 森 志 郎
技 官 浅 野 宗 信
技 官 畑 田 修 三
文書係
係 長 目 谷 耕 一
事 務 官 永 川 智 子
事 務 官 岡 田 静 子
事 務 官 上 條 誠 子
調査係
係 長 丘 山 昇 武
主 任 林 山 昇 武
任用係
係 長 中 田 孜 行
主 任 西 野 徳 邦 浩
事 務 官 清 水 邦 浩
給与係
係 長 小 川 勇
事 務 官 竹 林 知 恵 子
職員係
係 長 佐 伯 光 雄
事 務 官 奥 田 豊 子
事 務 官 飯 野 る み 子
福祉係
係 長 森 田 隆 夫
主 任 中 村 信 一
事 務 官 有 澤 郁 子

主計課
主計課長 山 本 五 十 雄
課長補佐 山 本 道 弘
総務係
係 長 三 宅 治 美
事 務 官 木 下 裕 美
照査係
係 長 塗 岡 建 男
主 任 西 口 一 夫
事 務 官 黒 田 景 一
監査係
係 長 江 幡 隆 一
主 任 山 崎 政 昭
司計係
係 長 千 田 淳 一
主 任 鈞 谷 田 善 幸 子
事 務 官 経 野 潤 子
事 務 官 西 坂 田 晋 良 進
事 務 官 数 井 進 子
管財係
係 長 市 川 勇 明
事 務 官 市 島 本 輝 邦
事 務 官 岡 本 邦 輝
經理課
經理課長 中 嶋 信 雄
課長補佐 上 谷 順 次
情報処理係
係 長 池 田 良 一
主 任 牧 石 信 久 康
事 務 官 石 原 幾 久 榮
事 務 官 山 崎 一 朗
事 務 官 山 本 多 了
技 官 高 瀬 範 和
出納係
係 長 川 野 正 博
事 務 官 村 井 美 代 子
事 務 官 石 坂 後 妃 佐 子
事 務 補 佐 員 矢 後 妃 佐 子
用度第一係
係 長 松 本 欣 也
主 任 福 田 康 美
事 務 官 中 住 松 周 二
事 務 官 牧 野 井 博
事 務 官 入 梅 村 孝 信
技 官 佐 伯 芳 仁

技 官 松 田 弘 之
技 官 数 井 英 雄
技 官 真 野 一 雄
事 務 補 佐 員 沖 津 牧 子
用度第二係
係 長 谷 口 之 武
主 任 稲 垣 市 雄
事 務 官 五 十 嵐 美 千 子
事 務 官 佐 伯 則 宇
事 務 官 河 合 敬 夫
事 務 官 池 上 久 晴
事 務 官 山 田 裕 司
事 務 官 辻 谷 重 宏
業務部
業務部長 行 野 昭 三
施設課
施設課長 佐 藤 喜 三
課長補佐 奥 井 信 夫
企画係
係 長 高 瀬 邦 弘
主 任 日 合 三 雄
事 務 官 菊 映 子
工営係
係 長 佐 伯 信 男
技 官 中 島 広 志
技 官 今 田 裕 一
電気係
係 長 越 森 哲
技 官 四 嶋 正 喜
技 官 林 英 則
機械係
係 長 松 本 雅 秋
技 官 野 尻 田 謙 二
技 官 土 田 春 男
整備係
係 長 笠 場 紘 二
エネルギータ
技 官 浅 野 義 信
(技能主任) 渡 辺 政 春
技 官 杉 原 幸 雄
技 官 奥 野 俊 一
技 官 片 原 義 和
技 官 田 辺 良 夫
技 官 小 山 晴 昭
(技能主任) 廣 川 幸 英
技 官 松 田 憲 男

技官 池上伸昌
 技官 高森 茂
 技官 澤井 茂
 廃液処理施設 堂上 清夫
 技官 辻水 美夫
 技官 才登 美夫
 技官 補佐員 宗 儀
医事課
 医事課長 寺田 康雄
 課長補佐 松下 甚清
総務係
 係長 前田 卓爾
 主任 清水 隆子
 事務官 北大 久子
 事務官 大辻 勉
 事務官 石島 惠
医事係
 係長 堀道 秋雄
 主任 堀西 義男
 主任 河屋 隆二
 事務官 荒川 敏子
 事務官 稲川 正行
 事務官 清加 啓二
 事務官 高野 直子
 事務官 堺宮 千春
 事務官 袋野 浩昭
 事務官 中野 正紀
 事務官 堀田 美由
 事務官 小池 正巳
 事務官 藤井 秀春
収入係
 係長 安部 孝
 事務官 示森 加代子
 事務官 荒間 千鶴子
 事務官 杉本 文子
 事務官 竹森 由美子
 事務補佐員 楠瀬 三保子
中診係
 係長 五十嵐 靖夫
 主任 村井 妙子
 事務官 平野 京子
 事務官 桑原 和子
 事務官 野沢 宏子
 事務官 出村 昭恵
 事務官 島田 勢都子
 事務官 竹島 さとみ
 事務官 宮腰 由美子

事務官 小川 林惠利子
 事務官 中河 原博美
 事務官 河酒早 百合
 事務官 森井 文寿
 技官 平野 徹夫
 技官 村井 厚子
 技官 渡辺 志明
 技官 安念 のり子
 技官 矢郷 美智子
 技官 高田 美雪
 技官 竹垣 美雪
電算係
 係長 中田 蘊
 主任 千原 和夫
 事務官 大坂 肇
給食係
 係長 山下 裕一
 主任 山本 志喜子
 主任 栄養士 明原 昭弘
 技官 野室 則子
 技官 矢後 慶子
 技官 久々 譲一
 調理主任 山池 登子
 技官 千北 香子
 技官 野谷 信和
 技官 西井 広一
 技官 清水 清三
 技官 吉中 野政
 技官 奥高 英樹
 技官 富友 一夫
 技官 小石 須永
 技官 松山 永啓
 技官 藤田 雅恵
 技官 宮内 雅恵
教務部
 教務部長 齋藤 勝郎
学生課
 学生課長 横山 一歩
 課長補佐 水見 嘉康

学生係
 係長 堀尾 重男
 事務官 山光 真理
 事務官 谷本 浩和
 事務官(併) 荒間 孝夫
教務第一係
 係長 廣田 浩平
 主任 杉森 伸平
 事務官 小川 君子
 技官 飯野 久義
教務第二係
 係長 宮村 健壯
 事務官 荒田 一成
 事務官 西田 等之
 事務官 綿矢 憲之
厚生係
 係長 諏訪 利明
 事務官 堰富 美雄
 事務官 高島 美智子
研究協力課
 研究協力課長 藤井 登
研究企画係
 係長 平野 茂良
 事務官 道林 一郎
 事務官 荒木 義弘
 技官 大田 一子
 技官 堀井 竹夫
 技官 安川 陽子
 技官 五十嵐 勝美
 事務官 畑山 曉佳
 事務官 古田 則子
 技官 恒田 義美
 技官 高山 昌子
 技官 熊田 時正
 技官 松島 貴子
 技官 井上 裕美
 技官 中西 明夫
 事務官 酒井 慶子
 事務官 蓑井 史子
 事務官 岡村 規伊
 技官 野手 実千代
 技官 桑原 芳弘
 技官 松永 憲治
 事務官 永田 仁志
 事務官 早川 千都
 技官 新井 清美
 技官 新井 健二

技 官 廣 田 早 苗
 技 官 中 山 八 州 男
 技 官 佐 野 明 美 子
 技 官 安 川 見 由 美 子
 技 官 武 田 精 典 一 昌 子
 技 官 山 崎 本 昌 子
 技 官 清 水 順 慶 子
 技 官 堀 越 内 信 和 子
 技 官 垣 林 前 野 川 美 紀 子
 技 官 餅 川 川 ゆかり 子
 技 官 高 島 利 昭 江 美 子
 技 官 小 毛 利 雅 美 津 子
 技 官 谷 内 美 智 子
 技 官 田 中 弥 生 進 子
 技 官 末 原 道 智 榮 子
 技 官 海 楠 木 由 美 子
 技 官 千 葉 昌 子
 技 官 櫻 井 道 唯 容 子
 技 官 浮 田 直 志 のぶ 子
 技 官 高 藤 森 雅 泰 子
 技 官 志 政 米 花 二 清 憲 勉 司
 技 官 村 長 坪 矢 吉 森 川 吉 石 小 藤 辰 尾 廣 義 良 春 秋

研究助成係

係 長 政 米 花 二 清 憲 勉 司
 主 任 事 務 官 村 長 坪 矢 吉 森 川 吉 石 小 藤 辰 尾
 (技 術 主 任) 技 官 村 長 坪 矢 吉 森 川 吉 石 小 藤 辰 尾

技 官 山 崎 紀 仁
 技 官 庄 司 美 樹 宏 子
 技 官 朴 木 崎 佳 代 子
 技 官 山 崎 似 鳥 正 吾
 技 官 山 崎 市 村 昇 一 一 代 章
 技 官 西 丸 上 野 岡 滝 田 林 津 忠 潤 美 義 富 土 美 子 禮 源
 技 官 吉 栗 魚 四 野 島 福 塩 高 野 佐 々 木
 技 官 吉 栗 魚 四 野 島 福 塩 高 野 佐 々 木
 技 官 吉 栗 魚 四 野 島 福 塩 高 野 佐 々 木

図書課

図書課長 似 鳥 正 吾
 管理係 長 市 村 昇 一 一 代 章
 係 長 市 村 昇 一 一 代 章
 事務官 西 丸 上 野 岡 滝 田 林 津 忠 潤 美 義 富 土 美 子 禮 源

整理係

整理係 長 吉 栗 魚 四 野 島 福 塩 高 野 佐 々 木

医学部

医学部長(併) 佐 々 木 博

解剖学

教 授 松 田 健 史
 助 教 授 森 沢 佐 史
 助 手 堀 原 治 道
 技 官 ※ 堀 井 竹 夫
 教 授 高 屋 田 一 一 司
 助 教 授 川 真 田 聖 堅
 助 手 宮 田 木 淑 子
 技 官 ※ 高 安 川 陽

生理学

教 授 川 崎 匡 悠
 助 教 授 佐 藤 野 村 明 身 彦 美 年 雄 治 美 子
 助 手 大 村 十 嵐 勝 武 仁 清 正 暁 佳 子
 技 官 ※ 大 村 十 嵐 勝 武 仁 清 正 暁 佳 子
 教 授 小 野 村 田 山 寄
 助 教 授 中 野 村 田 山 寄
 助 手 福 畑 古

生化学

教 授 平 賀 紘 一 子 二 文
 技 官 ※ 恒 藤 小 助 教 授

助 手 五 古 高 味 西 田 知 清 義 治 司 美 信 夫 寬 裕 昌 正 子 朝 彦 一 司 一 子 清 良
 技 官 ※ 北 川 正 淳 嘉 一 久 時 美 紀 富 美 邦 統 純 洋 貴 国
 技 官 ※ 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒
 技 官 ※ 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒
 技 官 ※ 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒
 技 官 ※ 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒

病理学

教 授 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒
 助 教 授 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒
 助 手 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒
 技 官 ※ 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒
 技 官 ※ 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒
 技 官 ※ 北 三 村 松 山 熊 前 小 若 櫛 平 倉 松 小 上 荒

細菌学・免疫学

教 授 小 山 坂 林 鈴 井 餅 庭 落 林 坂 中
 助 教 授 小 山 坂 林 鈴 井 餅 庭 落 林 坂 中
 助 手 小 山 坂 林 鈴 井 餅 庭 落 林 坂 中
 助 手 小 山 坂 林 鈴 井 餅 庭 落 林 坂 中
 技 官 ※ 小 山 坂 林 鈴 井 餅 庭 落 林 坂 中
 技 官 ※ 小 山 坂 林 鈴 井 餅 庭 落 林 坂 中
 技 官 ※ 小 山 坂 林 鈴 井 餅 庭 落 林 坂 中

ウイルス学

教 授 庭 落 林 坂 中
 助 教 授 庭 落 林 坂 中
 助 手 庭 落 林 坂 中
 助 手 庭 落 林 坂 中
 技 官 ※ 庭 落 林 坂 中
 技 官 ※ 庭 落 林 坂 中
 技 官 ※ 庭 落 林 坂 中

薬理学

教 授 中 武 百 山 西 渡 鏡 成 浜 酒 中
 助 教 授 中 武 百 山 西 渡 鏡 成 浜 酒 中
 助 手 中 武 百 山 西 渡 鏡 成 浜 酒 中
 助 手 中 武 百 山 西 渡 鏡 成 浜 酒 中
 技 官 ※ 中 武 百 山 西 渡 鏡 成 浜 酒 中
 技 官 ※ 中 武 百 山 西 渡 鏡 成 浜 酒 中
 技 官 ※ 中 武 百 山 西 渡 鏡 成 浜 酒 中

保健医学

教 授 渡 鏡 成 浜 酒 中
 助 教 授 渡 鏡 成 浜 酒 中
 助 手 渡 鏡 成 浜 酒 中
 助 手 渡 鏡 成 浜 酒 中
 技 官 ※ 渡 鏡 成 浜 酒 中
 技 官 ※ 渡 鏡 成 浜 酒 中
 技 官 ※ 渡 鏡 成 浜 酒 中

公衆衛生学

教 授 加 須 屋 西 島 藤 實 豊 子 隆
 助 教 授 加 須 屋 西 島 藤 實 豊 子 隆
 助 手 加 須 屋 西 島 藤 實 豊 子 隆
 助 手 加 須 屋 西 島 藤 實 豊 子 隆
 技 官 ※ 加 須 屋 西 島 藤 實 豊 子 隆
 技 官 ※ 加 須 屋 西 島 藤 實 豊 子 隆
 技 官 ※ 加 須 屋 西 島 藤 實 豊 子 隆

事務官※ 蓼 島 彰 子
 法医学 教授 滝 澤 久 夫
 事務官※ 村 井 規 伊 子
 内科学 教授 矢 野 三 郎
 講師 中 尾 皖 英 治
 助手 大 鈴 角 誠 彦
 助手 山 木 下 直 宏
 事務官※ 岡 高 島 千 代
 事務補佐員 篠 山 昭 美
 教授 水 村 重 威 治
 助手 余 井 川 和 幸 明
 助手 藤 野 手 姫 代 美
 技官※ 小 椋 雅 美
 事務補佐員 佐 木 上 恭 一
 教授 佐 井 市 田 圭 一
 助手 青 藤 倉 信 一 郎
 助手 桑 原 芳 弘
 技官※ 事務補佐員 毛 谷 利 美
 技術補佐員 谷 内 美 智 子
 皮膚科学 教授 諸 橋 正 昭
 講師 高 宮 入 西 省 三
 助手 小 斉 藤 永 可 南
 助手 松 田 中 憲 宏
 技官※ 事務補佐員 田 谷 口 治 生
 事務補佐員 岡 田 敏 夫
 小児科学 教授 鈴 木 好 文
 助手 五 十 嵐 隆 夫
 助手 嶋 尾 智 徹
 助手 小 西 田 仁 志
 技官※ 精神神経医学 教授 村 川 一 郎
 助教授 中 数 葛 野 洋 一 悟
 助手 葛 堤 早 川 千 都
 事務官※ 事務補佐員 末 原 さ つ き
 放射線医学 教授 柿 下 正 雄

助教授 瀬 戸 光
 助手 井 本 哲 也
 助手 古 本 尚 文
 技官※ 征 矢 敏 雄
 竹 下 清 美
 外科学 教授 山 本 惠 一
 助教授 上 山 武 史
 助手 富 川 正 樹
 助手 笠 田 島 晴
 技官※ 津 新 井 基 健
 教授 藤 伊 永 卷 藤 敏 夫
 助手 宗 永 像 周 博
 技官※ 助 手 廣 木 田 早 德 三
 脳神経外科学 教授 久 藤 晃 郎
 助教授 高 遠 俊 潤 一
 助手 中 大 森 友 一
 技官※ 整形外科学 教授 辻 陽 雄
 助教授 玉 置 哲 也
 助手 山 田 均
 助手 加 藤 義 治 均
 助手 高 野 孝 太 郎
 技官※ 佐 野 明 美
 産科婦人科学 教授 泉 陸 一
 講師 川 端 正 清
 助手 細 川 秀 仁
 助手 岡 八 木 裕 昭
 事務官※ 事務補佐員 安 海 道 礼 子
 事務補佐員 楠 木 智 榮 子
 事務補佐員 由 美 子
 眼科学 教授 窪 田 靖 夫
 助教授 中 村 泰 久
 助手 開 本 繁 義
 助手 尾 崎 忠 司
 技官※ 水 見 由 美
 事務補佐員 千 葉 由 美 里
 事務補佐員 中 山 昌 子
 耳鼻咽喉科学 教授 水 越 鉄 理

助教授 渡 辺 行 雄
 助手 麻 生 行 伸
 技官※ 吉 田 正 夫
 武 田 精 一
 泌尿器科学 教授 片 山 喬
 助教授 中 田 田 英 浩
 助手 金 田 池 隆 志
 助手 小 寺 崎 宏 義
 技官※ 櫻 井 典 昌 子
 事務補佐員 麻酔科学 教授 伊 藤 祐 輔
 助教授 久 世 田 裕 照
 助手 増 島 田 五 達
 助手 桐 山 本 昌 子
 技官※ 歴史学 助教授 小 澤 浩
 心理学 教授 白 井 進
 物理学 助教授 豊 富 誠 三
 化学 教授 永 田 正 典
 教務職員 高 橋 た み 子
 生物学 教授 本 田 昂
 教務職員 益 見 厚 子
 英語 教授 常 木 清
 保健体育 教授 金 子 基 之
 動物実験センター 教務職員 桃 井 啓 子
 R I 施設 教務職員 前 田 正 敏
 教務職員 石 川 篤 子
 解剖棟 教務職員 中 村 功
 薬学部 薬学部 長(併) 山 崎 高 応
 薬剤薬理学 教授 小 泉 保
 助教授 掛 見 正 郎
 助手 片 山 和 憲
 教務職員 遠 藤 真 樹
 教授 木 村 正 康

助教授 木村郁子
助手 鈴木潤
事務補佐員 行之内唯容子

臨床分析学

教授 谷村 息徳
助教授 田上昇一郎
助手 山崎重雄
助手 中野琢
助手 堀川力三
教授 狐塚 寛
助教授 宮原 龍郎
助手 森正明
助手 川嶋洋一

医薬品化学

教授 吉井英一
助教授 野村敬一
助手 武田 敬造
教務職員 堀 耕
教授 山崎高應
助教授 的場勝英
助手 高畑広紀
助手 平井美朗

衛生生物化学

教授 小橋恭一
助教授 酒井立夫
助手 赤尾光昭子
助手 竹部幸子
事務補佐員 浮田直美
事務補佐員 高柳志のぶ

教授 中川秀夫
助教授 三井健一郎
助手 渡辺一義子
技官※ 堀越 葉子
教授 西荒介治也
助教授 岡村昭文
助手 黒崎文也

薬用資源学

教授 森田直賢
助教授 清水岑夫
助手 有澤宗久
助手 林利光
教授 小泉義徹
助教授 竹内謙次
助手 荒井 次光
教務職員 高山 光

物理薬剂学

教授 榎本三郎
助教授 井上正美
助手 柏木 寛
助手 上山 勉
教授 竹口 紀晃

講師 森井孫俊
助手 柏倉 正司
教務職員 浅野真司
助教授 北川泰司
助手 森佳洋之
助手 篠田裕之

哲学

教授 田辺正英

法学

助教授 阿原 稔

物理学

教授 林 光彦
教務職員 田村一郎

化学

助教授 廣上俊一

生物学

教授 菅野延彦

独語

教授 上原欣一

保健体育

助教授 小野寺孝一

薬用植物園

園長(併) 森田直賢
教授 吉崎正雄
助手 鈴木正一
技官※ 藤野広春秋
技官※ 辰尾良仁
技官※ 山崎紀仁

和漢薬研究所

所長(併) 荻田善一

資源開発

教授 難波恒雄
助教授 服部征雄
助手 御影雅幸子
技官※ 垣内信子
事務補佐員 藤森雅子
事務補佐員 志甫泰子

生物試験

教授 野村靖幸
助教授 渡邊裕司
助手 金子周司

臨床利用

教授 大浦彦吉
助教授 日合隆
助手 横沢 哲
助手 長沢 哲

病態生化学

教授 荻田善一
助教授 中島山 一
助手 丸山由紀子
技官※ 林和子

化学応用

教授 菊池 徹
助教授 金岡又雄
助手 門田重利

附属図書館

館長(併) 大浦彦吉

図書課

課長※ 似鳥正吾

管理係

係長※ 市村昇一

事務官※ 西野伸一

技官※ 丸岡昌章

事務官※ 上滝 敏

整理係

係長※ 吉田惠吉

事務官※ 栗林裕子

事務官※ 魚津純子

閲覧参考係

係長※ 四津忠一

事務官※ 野沢潤吉

事務官※ 嶋山美苗

事務官※ 福島義忠

事務官※ 塩刈富士美

事務補佐員※ 高瀬礼子

事務補佐員※ 野尻源蔵

附属病院

病院長(併) 熊谷 朗

診療科

第一内科

科長(併) 矢野三郎

教授 中尾皖英

病棟医長(兼) 講 師 加藤弘智

外来医長(兼) 講 師 浜崎智仁

医局長(兼) 助 手 大角誠治

助 手 水島 豊

助 手 杉山 英二

助 手 池本 清彦

医 員 星野 俊尚

医 員 森岡 田尚

医 員(研修医) 中村 文

医 員(研修医) 沢村 勝美

医 員(研修医) 神原 哲司

医 員(研修医) 神本 裕

医 員(研修医) 篠山 重

第二内科

科長(併) 篠山重威

教授 飯田 正信

医局長(兼) 講 師 高田

外来医長(兼) 講 師

病棟医長(兼) 余中 川島 茂宣
 助手 中野 久英
 助手 麻野 繁樹
 助手 能澤 貞志
 医員 吉藤 充宏
 医員 浅高 裕司
 医員 中尾 義広
 医員 池田 清文
 医員 供平 信浩
 医員 八河 功一
 医員 和水 新悦
 第三内科 科長(併) 佐々木 博
 科長(併) 田中 三千雄
 医員(兼) 小島 信一郎
 病棟医長(兼) 藤倉 清博
 助手 樋口 健彦
 助手 紺山 俊学
 医員 山窪 芳一
 医員 井田 土修
 医員 稻坂 谷東
 医員 高嶋 清国
 医員 山原 和彦
 岡田 和彦
 皮膚科 科長(併) 諸橋 正昭
 科長(併) 池田 正和
 医員(兼) 須藤 成章
 病棟医長(兼) 高橋 省三
 外来医長(兼) 高橋 垣太
 助手 関松 千尋
 助手 岡田 敏夫
 小児科 科長(併) 岡谷 邦夫
 科長(併) 谷澤 隆夫
 医員(兼) 樋口 晃夫
 外来医長(兼) 五十嵐 隆大
 病棟医長(兼) 助手 馬瀬 大

助手 谷村 守正
 助手 山宮 巧美
 医員 三本 美和
 医員(兼) 八丸 必沙
 医員(兼) 丸山 裕和
 医員(兼) 丸山 明夫
 精神科 科長(取) 中村 一郎
 科長(併) 清水 昭規
 医員(兼) 細川 邦仁
 病棟医長(兼) 藤井 義勉
 助手 三野 真子
 助手 野田 真紀子
 放射線科 科長(併) 柿下 雄
 科長(併) 石崎 正良
 医員(兼) 二谷 立介
 病棟医長(兼) 外來医長(兼) 亀井 哲也
 助手 滝麻 生正
 助手 麻生 邦正
 第一外科 科長(併) 山本 惠一
 科長(併) 龍村 晃樹
 医員(兼) 永富 正基
 病棟医長(兼) 助手 津田 浩志
 外来医長(兼) 助手 湊小 千章
 助手 稲鈴 木章
 助手 鈴野 高野 徹
 第二外科 科長(併) 藤卷 雅夫
 科長(併) 田沢 賢次
 外来医長(兼) 唐木 芳昭
 病棟医長(兼) 助手 阿部 要一
 助手 桐山 誠芳
 助手 山吉 真一郎
 医員 広石 慎典
 医員 加藤 市郎
 医員 穂島 清彦
 医員 清水 哲朗

田島 内多 克典
 内多 久 晃夫
 高岡 伸 幸男
 堀原 武田 茂憲
 野上 予人
 整形外科 科長(併) 辻 陽雄
 科長(併) 伊藤 達雄
 医員(兼) 館崎 慎一郎
 病棟医長(兼) 助手 山岡 均文
 助手 松井 良哉
 助手 森辻 高明
 医員 長石 裕和
 医員(兼) 木上 田剛
 医員(兼) 牧山 尚也
 医員(兼) 下森 裕司
 伊藤 俊一
 産科婦人科 科長(併) 泉 陸一
 科長(併) 講師 長岩 恒洋
 外来医長(兼) 講師 新川 正隆
 病棟医長(兼) 助手 細川 清仁
 医員(兼) 助手 今井 敏久
 助手 栗脇 山田 靖幸
 医員 田林 英樹
 眼科 科長(併) 窪田 靖夫
 科長(併) 外來医長(兼) 中村 泰久
 助手 中山 祐司
 病棟医長(兼) 助手 石山 二郎
 助手 大角 泉子
 助手 山田 智成
 助手 畑田 明晃

技官 森田 猛
 分娩部 部長(兼) 泉 陸 一
 部長(兼) 泉 陸 一
 副部長(兼) 岩間 洋 一
 副部長(兼) 岩間 洋 一
 病理部 部長(兼) 小泉 富美朝
 部長(兼) 小泉 富美朝
 部長(兼) 三輪 淳夫
 部長(兼) 三輪 淳夫
 部長(兼) 助増 田 信二
 部長(兼) 助増 田 信二
 フォトセンター 長(兼) 辻 陽 雄
 センター 長(兼) 辻 陽 雄
 技官 梅谷 公悦
 薬剤部 部長(併) 堀越 勇
 部長(併) 堀越 勇
 副部長(兼) 上野 雅晴
 副部長(兼) 上野 雅晴
 副部長(兼) 助足 立 伊左雄
 副部長(兼) 助足 立 伊左雄
 副部長(兼) 中川 輝昭
 副部長(兼) 中川 輝昭
 技官 加野 軒作
 技官 加野 軒作
 技官 松原 利行
 技官 松原 利行
 技官 榎本 紀夫
 技官 榎本 紀夫
 技官 鳥居塚 和一夫
 技官 鳥居塚 和一夫
 技官 足立 博一治
 技官 足立 博一治
 技官 石塚 安郁男
 技官 石塚 安郁男
 技官 金松 清美彦
 技官 金松 清美彦
 技官 黒崎 村 智美子
 技官 黒崎 村 智美子
 技官 安田 山 みどり
 技官 安田 山 みどり
 技官 高谷 内 久美枝
 技官 高谷 内 久美枝
 技官 事務 笠波 金 二子
 技官 事務 笠波 金 二子
 技官 技能補佐員 広岡 上 里美
 技官 技能補佐員 広岡 上 里美
 技官 技能補佐員 水 上 里美
 看護部 看護部長 坂倉 ナ ミ
 看護部長 坂倉 ナ ミ
 副看護部長 出来田 満 恵子
 副看護部長 出来田 満 恵子
 副看護部長 西田 彰 子
 副看護部長 西田 彰 子
 看護婦長 吉岡 和 美子
 看護婦長 吉岡 和 美子
 技官 吉岡 和 美子
 技官 吉岡 和 美子
 技官 太田 田 壽子
 技官 太田 田 壽子
 技官 若林 多都子
 技官 若林 多都子
 技官 荒井 順 子
 技官 荒井 順 子
 技官 清敦 康 子
 技官 清敦 康 子
 技官 新牧 野 子
 技官 新牧 野 子
 技官 柳瀬 智 子
 技官 柳瀬 智 子
 技官 事務 林 美 智代

技官 原田 清 志子
 技官 原田 清 志子
 東2階 看護婦長 高山 幸 子
 看護婦長 高山 幸 子
 技官 波間 尚 美子
 技官 波間 尚 美子
 技官 金山 弘 美子
 技官 金山 弘 美子
 技官 早川 清 美子
 技官 早川 清 美子
 技官 本橋 多津子
 技官 本橋 多津子
 技官 官谷 利美子
 技官 官谷 利美子
 技官 能谷 和佳子
 技官 能谷 和佳子
 技官 金崎 澄枝
 技官 金崎 澄枝
 技官 本砂 紀代美子
 技官 本砂 紀代美子
 技官 東英 祐美子
 技官 東英 祐美子
 技官 植木 敦君
 技官 植木 敦君
 技官 米押 川 満
 技官 米押 川 満
 西2階 看護婦長 境 美代子
 看護婦長 境 美代子
 技官 中高 西 美和子
 技官 中高 西 美和子
 技官 吉野 久 子
 技官 吉野 久 子
 技官 酒井 真利子
 技官 酒井 真利子
 技官 奥野 仁美子
 技官 奥野 仁美子
 技官 徳堂 啓 子
 技官 徳堂 啓 子
 技官 桑守 美千代
 技官 桑守 美千代
 技官 澤田 浩美子
 技官 澤田 浩美子
 技官 小川 淳 子
 技官 小川 淳 子
 技官 遠井 悦子
 技官 遠井 悦子
 技官 今松 純 子
 技官 今松 純 子
 技官 杉本 由香子
 技官 杉本 由香子
 技官 米本 百合子
 技官 米本 百合子
 技官 佐渡 貴子
 技官 佐渡 貴子
 技官 清藤 水 京子
 技官 清藤 水 京子
 東3階 看護婦長 島田 靛 子
 看護婦長 島田 靛 子
 技官 浦野 美津子
 技官 浦野 美津子
 技官 廣谷 真里子
 技官 廣谷 真里子
 技官 長谷川 薫 子
 技官 長谷川 薫 子
 技官 古田 由美子
 技官 古田 由美子
 技官 江山 康 子
 技官 江山 康 子
 技官 山端 憲 子
 技官 山端 憲 子
 技官 杉政 美 雪子
 技官 杉政 美 雪子
 技官 山吉 京 子
 技官 山吉 京 子
 技官 山中 真由美子
 技官 山中 真由美子
 技官 伊藤 信 子

技官 藤井 孝 子
 技官 藤井 孝 子
 技官 藤原 政 子
 技官 藤原 政 子
 技官 山田 千鶴子
 技官 山田 千鶴子
 技官 高谷 昭 子
 技官 高谷 昭 子
 技官 熊木 佳 子
 技官 熊木 佳 子
 技官 長谷川 由美子
 技官 長谷川 由美子
 技官 能登 多希子
 技官 能登 多希子
 技官 加藤 真由美子
 技官 加藤 真由美子
 技官 鉢呂 京 子
 技官 鉢呂 京 子
 技官 山田 和 美子
 技官 山田 和 美子
 技官 安本 由美子
 技官 安本 由美子
 技官 川瀬 利 志津子
 技官 川瀬 利 志津子
 技能補佐員 西3階 看護婦長 山口 千鶴子
 看護婦長 山口 千鶴子
 技官 実桐 のり子
 技官 実桐 のり子
 技官 米道 智 子
 技官 米道 智 子
 技官 森岡 智 子
 技官 森岡 智 子
 技官 武田 美惠子
 技官 武田 美惠子
 技官 高安 淳 子
 技官 高安 淳 子
 技官 吉田 正 子
 技官 吉田 正 子
 技官 小川 康 子
 技官 小川 康 子
 技官 清原 財 子
 技官 清原 財 子
 技官 大角 京 子
 技官 大角 京 子
 技官 村家 さゆり 子
 技官 村家 さゆり 子
 技官 高木 恵 子
 技官 高木 恵 子
 技官 矢久保 尚 子
 技官 矢久保 尚 子
 技官 加藤 正 子
 技官 加藤 正 子
 技官 北松 波 子
 技官 北松 波 子
 技官 成田 昌 子
 技官 成田 昌 子
 技官 北沢 光 子
 技官 北沢 光 子
 技官 斉藤 永 子
 技官 斉藤 永 子
 技官 中山 郁 子
 技官 中山 郁 子
 技官 木下 尚 子
 技官 木下 尚 子
 技官 高松 千 子
 技官 高松 千 子
 技官 浦畑 久 子
 技官 浦畑 久 子
 東4階 看護婦長 高谷 登 志子
 看護婦長 高谷 登 志子
 技官 小橋 多鶴子
 技官 小橋 多鶴子
 技官 小中 まゆみ 子
 技官 小中 まゆみ 子
 技官 宝田 美紀代 子
 技官 宝田 美紀代 子
 技官 坪田 由美子
 技官 坪田 由美子
 技官 吉田 京 子
 技官 吉田 京 子
 技官 荒城 真 子
 技官 荒城 真 子
 技官 村口 弓 子
 技官 村口 弓 子
 技官 押川 志津子
 技官 押川 志津子
 技官 鳥山 弘 美 子

技官 牧野律子
技官 前畑佳永子
技官 島順美子
技官 吉田真知子
技官 張田とめ子
西4階
看護婦長 江川アツ子
技官 早川明美子
技官 前田季子
技官 清水優紀子
技官 山本洋子
技官 川田明美子
技官 武田順子
技官 福崎るつ子
技官 道武由美子
技官 武藤美千留子
技官 加納百合子
技官 本田恵子
技官 池田裕子
技官 黒田由紀子
技官 白井淳子
技官 草野小百合子
技官 清水友子
東5階
看護婦長 村上佳子
技官 南直一二三子
技官 中田洋子
技官 長江章子
技官 花井磨弓子
技官 八倉卷洋子
技官 石山浩美子
技官 松岡幸代子
技官 柿村美奈子
技官 北老月美智代子
技官 伊黒藤千幸子
技官 佐藤アヤ子
技官 奥田日出子
西5階
看護婦長 浜大門祐美子
技官 北川三恵子
技官 秋濃京子
技官 伊藤千佳子
技官 中野由美子
技官 酒井美和子
技官 安田野智和子

技官 吉澤喜代美
技官 瀬川美香子
技官 泉野よし子
技官 多田聡美子
技官 立野友子
技官 山本雅子
技官 石政光子
技官 秋村トミ子
東6階
看護婦長 藤井すみ子
技官 守護和世子
技官 牧田富士子
技官 坂口ゆきみ子
技官 木本久子
技官 廣瀬雅子
技官 小坂昭子
技官 藤井春美子
技官 江尻紀久子
技官 横井恵美子
技官 篠井弓子
技官 野上悦子
技官 野手みゆき子
技官 渋谷朋美子
技官 和田希子
技官 長七美子
技官 秋伊藤明子
技官 早川公三子
技官 奥野満喜子
西6階
看護婦長 佐竹純子
看護婦長 室谷恵美子
技官 山田緑子
技官 橋本豊子
技官 伊清水紀代美子
技官 清石浩美子
技官 宮下富士子
技官 佐渡裕子
技官 村田智恵子
技官 杉本紀代美子
技官 浅井由子
技官 鎌田則子
技官 島倉昭美子
技官 宮崎郁美子
技官 牧山寿美子
技官 栃澤裕子
技官 村井真紀子
技官 高木暢昌子

東7階
看護婦長 五十嵐藤子
技官 亀谷由美子
技官 講堂のり子
技官 石黒昌京子
技官 中工藤孝子
技官 老田香代恵美子
技官 稲垣睦真由美子
技官 若扇谷智加子
技官 田中いづみ子
技官 鍛冶原直美子
技官 池山高杉田祐子
技官 山小西久美子
技官 宮田景真子
技官 水口志賀子
技官 奥田アイコ子
西7階
看護婦長 吉田百合子
技官 川田やす子
技官 大田令苗美子
技官 西本早明子
技官 斉村裕喜代美子
技官 原池田志をり子
技官 山今井道晴津子
技官 和横川園美子
技官 森里美子
技官 荒木紀光子
技官 広田香小夜子
岩城子
外来・中診部門
相談室
看護婦長 佐藤 ぬい子
技官 東 比二美子
外来1階
看護婦長※ 佐藤 ぬい子
技官 板倉 俊子
技官 酒井 恵子
技官 松崎 和美子
技官 高木 英子
技官 網谷 澄子

技官 吉井和 美
 技官 宮島智恵 美
 技官 奥村 応子
 外来2階
 看護婦長※ 佐藤 ゑい子
 技官 高田 敦子
 技官 塚原 節子
 技官 門口 泰英子
 技官 中道 睦子
 技官 家城 栄子
 技官 前田 暁子
 技官 岡野 明美
 技官 青山 紀代美
 技官 石黒 真由美
 技官 高野 明美
 技官 中林 千代子
 技能補佐員
 外来3階
 看護婦長※ 佐藤 ゑい子
 技官 伊澤 加寿美
 技官 岡本 久子
 技官 寺西 裕子
 技官 吉松 千恵子
 技官 中谷 幸子
 技官 松本 生子
 技官 長木 雅子
 手術部
 看護士長 松田 公夫
 技官 海老江 卷子
 技官 村上 のり子
 技官 山田 しのぶ
 技官 平松 妙子
 技官 京田 昌子
 技官 浜野 保子
 技官 石金 恵子

技官 池端 美雪
 技官 島端 久美子
 技官 高柳 靖子
 技官 高々木 直子
 技官 佐々 度一 美
 技官 荒井 幸美
 技官 矢合 朱美
 技官 山本 絹子
 技官 辻口 喜代隆
 技官 明石 佳子
 技官 下川 里美
 技官 塚田 博美
 技官 小寺 尚美
 技官 久我 口淳
 技官 塚本 博
 技官 酒井 キミ子
 放射線部
 看護婦長 江口 富子
 技官 柴田 幸子
 技官 沼田 郁子
 技官 山本 芳子
 材料部
 看護婦長 湯浅 ゆき子
 技官 酒井 亮子
 技官 三輪 恵子
 技官※ 横野 猛
 技官※ 芹田 一雄
 技官※ 田辺 栄子
 技官※ 山本 浩子
 透析部
 技官 松島 登志美
 技官 村藤 頼子
 技官※ 森田 猛
 内視鏡室
 看護婦長※ 江口 富子

技官 白川 洋子
 学内共同教育研究施設
 動物実験センター
 センター長(併) 庭山 清八郎
 教授 東條 英昭
 助教授 桃井 啓子
 教務職員※ 栗山 政彦
 技官※ 村藤 貞雄
 技官※ 長谷川 実
 技官※ 坪田 等
 技官※ 矢後 正一
 技官※ 吉田 勝美
 実験実習機器センター
 センター長(併) 吉井 英一
 教授 佐々木 和男
 助手 中村 清実
 技官※ 森腰 正弘
 技官※ 川原 昌彦
 技官※ 吉井 亮一
 技官※ 石黒 義久
 技官※ 小川 誠
 共同利用施設
 放射性同位元素実験施設
 施設長(兼) 本田 昂
 教務職員※ 前田 正敏
 教務職員※ 石川 篤子
 技官※ 庄司 美樹
 技官※ 朴木 宏
 保健管理センター
 所長(併) 加須 屋実
 教授 齋藤 清二
 技官 山田 房子

7 名誉教授および在籍教授

名 誉 教 授



故 平 松 博（前学長）名誉教授略歴
明治42年12月16日生

年 月	記 事
昭8.3	金沢医科大学医学科卒業
11.5	金沢医科大学助教授
20.3	金沢医科大学教授
28.4	金沢大学医学部教授
33.4	金沢大学医学部附属病院長
49.8	富山大学国立医学教育機関創設準備室長
50.4	金沢大学名誉教授
50.4	富山大学富山医科薬科大学創設準備室長 事務取扱
50.5	富山大学富山医科薬科大学創設準備室長
50.10	富山医科薬科大学長
56.11	勲二等旭日重光章を授与
57.4	昭和57年3月31日限り退職
57.4	富山医科薬科大学名誉教授
59.6	逝去
59.6	正三位に叙位

小 林 收 名誉教授略歴
明治43年8月5日生



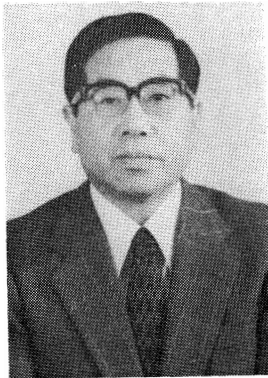
年 月	記 事
昭11.3	京都帝国大学医学部卒業
19.10	京都帝国大学医学部講師
21.1	三重県立医学専門学校教授
23.3	三重県立大学教授
31.6	新潟大学医学部教授
42.12	新潟大学医学部附属病院長
50.10	富山医科薬科大学副学長
51.4	富山医科薬科大学医学部長事務取扱
51.4	新潟大学名誉教授
52.4	富山医科薬科大学附属病院創設準備室長
54.4	富山医科薬科大学附属病院長
57.4	昭和57年3月31日限り退職
57.4	富山医科薬科大学名誉教授
58.4	勲二等瑞宝章を授与

長谷純一 名誉教授略歴
大正5年8月7日生



年 月	記 事
昭12.3	金沢医科大学附属薬学専門部卒業
26.5	富山大学薬学部助教授
28.4	富山大学薬学部教授
43.2	富山大学附属図書館長
54.4	富山医科薬科大学薬学部教授
57.4	昭和57年4月1日限り停年退職
57.4	富山医科薬科大学名誉教授

永原 茂 名誉教授略歴
大正6年10月8日生



年 月	記 事
昭15.3	東京帝国大学理学部卒業
18.11	名古屋帝国大学理学部助教授
24.6	富山大学文理学部助教授
43.4	富山大学薬学部教授
45.4	富山大学薬学部長
53.4	富山医科薬科大学薬学部教授
58.4	昭和58年4月1日限り停年退職
58.4	富山医科薬科大学名誉教授

在 籍 教 授

小 澤 光 副学長略歴
大正3年10月10日生

年 月	記 事
昭 14. 3	東京帝国大学医学部薬学科卒業
14. 4	東京女子薬学専門学校教授
32. 3	東京医科大学医学部医学科卒業
35. 4	東北大学医学部教授
47. 5	東北大学薬学部教授
53. 4	東北大学名誉教授の称号を授与
54. 7	富山医科薬科大学副学長
57. 4	昭和57年3月31日限り退職

柳 田 友 道 教授略歴
大正3年6月18日生

年 月	記 事
昭 15. 3	東京帝国大学医学部薬学科卒業
28. 1	千葉大学腐敗研究所教授
37. 7	東京大学応用微生物研究所教授
50. 4	富山大学薬学部教授
54. 4	富山医科薬科大学薬学部教授
54. 6	富山大学長
60. 6	富山大学長退職

戸 塚 盛 雄 教授略歴
昭和16年1月23日生

年 月	記 事
昭 42. 3	東京医科歯科大学歯学部卒業
46. 3	東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了
54. 8	富山医科薬科大学附属病院教授
57. 7	岩手医科大学歯学部教授

渡 辺 和 夫 教授略歴
昭和9年11月7日生

年 月	記 事
昭 33. 3	千葉大学薬学部卒業
38. 3	東京大学大学院化学研究科博士課程修了
41. 4	名古屋市立大学薬学部助教授
45. 1	富山大学薬学部教授
47. 4	富山大学薬学部附属和漢研究施設教授
49. 6	富山大学和漢薬研究所教授
53. 6	富山医科薬科大学和漢薬研究所教授
57. 8	富山医科薬科大学和漢薬研究所所長
58. 4	千葉大学薬学部教授

杉 本 恒 明 教授略歴
昭和7年2月7日生

年 月	記 事
昭 31. 3	東京大学医学部卒業
47. 7	金沢大学医学部助教授
52. 4	富山医科薬科大学医学部教授
58. 6	東京大学医学部教授

大 谷 勲 教授略歴
昭和13年7月4日生

年 月	記 事
昭 39. 3	岐阜県立医科大学医学部卒業
45. 9	岐阜大学大学院医学研究科修了
48. 4	長崎大学医学部助教授
53. 4	富山医科薬科大学医学部教授
59. 1	岐阜大学医学部教授

岡 本 宏 教授略歴
昭和14年4月10日生

年 月	記 事
昭 39. 3	金沢大学医学部卒業
44. 3	京都大学大学院医学研究科修了
51. 1	金沢大学医学部助教授
51. 4	富山医科薬科大学医学部教授
59. 4	東北大学医学部教授

故 遠 藤 正 臣 教授略歴
昭和6年12月30日生

年 月	記 事
昭 30. 3	金沢大学医学部卒業
36. 3	金沢大学大学院医学研究科修了
46. 4	金沢大学医学部附属神経情報研究施設助教授
48.10	金沢大学医学部助教授
53. 4	富山医科薬科大学医学部教授
60. 3	逝去
60. 3	勲四等旭日小綬章を授与 従四位に叙位

須 藤 修 作 教授略歴
大正8年8月30日生

年 月	記 事
昭 19. 9	東京帝国大学理学部卒業
49. 4	初等中等教育局主任教科書調査官
51. 4	富山医科薬科大学医学部教授
60. 3	停年退職

8 歴代部局長一覧

学 長	平松 博	50.10.1~57.3.31	薬学部長		
”	佐々 肇	57.4.1~	(取)	山崎 高應	51.4.1~53.7.31
副学長(教育研究および厚生補導担当)			”	(併) 増田 克忠	53.8.1~57.7.31
”	山崎 高應	50.10.1~54.6.30	”	(併) 山崎 高應	57.8.1~
”	小澤 光	54.7.1~57.3.31	和漢薬研究所長		
”	増田 克忠	57.8.1~	(取)	平松 博	53.6.17~53.7.31
副学長(医療担当)			”	(併) 難波 恒雄	53.8.1~55.7.31
”	小林 收	50.10.1~57.3.31	”	(併) 大浦 彦吉	55.8.1~57.7.31
”	熊谷 朗	57.8.1~	”	(併) 渡辺 和夫	57.8.1~58.3.31
附属病院創設準備室長			”	(併) 菊池 徹	58.4.1~60.3.31
(併)	小林 收	52.4.18~54.3.31	”	(併) 荻田 善一	60.4.1~
附属病院長	小林 收	54.4.1~57.3.31	附属図書館長		
”	(取) 佐々 肇	57.4.1~57.7.31	(取)	平松 博	50.10.1~54.1.31
”	(併) 熊谷 朗	57.8.1~	”	(併) 辻 陽雄	54.2.1~56.1.31
医学部長			”	(併) 矢野 三郎	56.2.1~58.1.31
(取)	小林 收	51.4.1~56.10.30	”	(併) 西 荒介	58.2.1~60.1.31
”	(併) 中西 颯央	56.11.1~58.10.30	”	(併) 大浦 彦吉	60.2.1~
”	(併) 佐々木 博	58.11.1~			

9 歴代幹部職員一覧

事務局 長	大島俊雄	50.10.1~53.6.19	〃	遠田芳夫	56.10.1~59.3.31
〃	岩間徹三	53.6.20~56.12.1	〃	河島 純	59.4.1~60.3.31
〃	矢田恒雄	56.12.1~59.4.1	〃	行野昭三	60.4.1~
〃	明野清和	59.4.1~	施設主幹	浅子修二	50.10.1~51.5.9
事務局 付	今井辰雄	52.4.1~52.4.17	施設課長	浅子修二	51.5.10~54.3.31
病院創設準備室 主幹	今井辰雄	52.4.18~54.3.31	〃	瀬川義廣	54.4.1~60.3.31
総務部 長	今井辰雄	54.4.1~55.3.31	〃	佐藤喜三	60.4.1~
〃	泉 寛清	55.4.1~58.5.31	(創設準備室主幹)	田口和彦	50.4.1~50.9.30
〃	水落賢治	58.6.1~59.11.30	主 幹	田口和彦	50.10.1~54.3.31
〃	山野辺桃村	59.12.1~	医事課長	田口和彦	54.4.1~56.3.31
庶務主幹	佐藤信男	50.10.1~51.5.9	〃	杉浦 清	56.4.1~58.3.31
庶務課長	佐藤信男	51.5.10~53.3.31	〃	関 国男	58.4.1~60.6.30
〃	橋野 睦	53.4.1~55.9.30	教務部長	寺田康雄	60.7.1~
〃	木村幸一郎	55.10.1~60.3.31	〃 (取)	金子光亨	54.4.1~56.2.28
〃	長田武雄	60.4.1~	〃	岩間徹三	56.3.1~56.3.31
(創設準備室事務長)	加藤昭作	49.8.16~50.9.30	〃	早川敬明	56.4.1~59.3.31
会計主幹	加藤昭作	50.10.1~51.5.9	〃	斉藤勝郎	59.4.1~
会計課長	加藤昭作	51.5.10~53.3.31	学生課長	上條安男	51.5.10~54.3.31
〃	白谷年成	53.4.1~54.3.31	〃	鬼柳正幸	54.4.1~56.3.31
主計課長	白谷年成	54.4.1~56.3.31	〃	関根正義	56.4.1~59.11.30
〃	多田教義	56.4.1~59.3.31	〃	横山一步	59.12.1~
〃	加藤孝一	59.4.1~60.6.30	研究協力課長	鬼柳正幸	53.4.1~54.3.31
〃	山本五十雄	60.7.1~	〃	笹沼 忠	54.4.1~57.3.31
経理課長	沢崎成逸	54.4.1~57.3.31	〃	阿部忠雪	57.4.1~60.3.31
〃	永井隆夫	57.4.1~59.3.31	〃	藤井 登	60.4.1~
〃	山本五十雄	59.4.1~60.6.30	図書課長	沢崎成逸	51.5.10~54.3.31
〃	中嶋信雄	60.7.1~	〃	岡田守正	54.4.1~56.3.31
業務部長	泉 寛清	54.4.1~55.3.31	〃	遠藤哲朗	56.4.1~59.3.31
〃	田中 明	55.4.1~56.9.30	〃	似鳥正吾	59.4.1~

10 現行委員会等一覧

(昭和60年6月1日現在)

名 称	設置年月日
学生委員会	S51.4.1
医学部教授会	51.4.28
入学試験管理委員会	51.5.1
附属図書館運営委員会	51.6.1
教務委員会	51.6.1
施設整備委員会	51.6.1
評議会	51.8.1
一般教育等運営委員会	51.12.24
体育施設運営委員会	52.4.1
医学教育検討委員会	52.5.11
入学者選抜方法研究委員会	52.8.1
学園だより編集委員会	52.12.23
教務委員会薬学文科会	53.6.14
和漢薬研究所教授会	53.6.17
大学院委員会	53.6.27
大学院薬学研究科委員会	53.6.27
レクリエーション協議会	53.9.14
発明委員会	53.10.27
放射性同位元素実験施設運営委員会	53.10.27
放射性同位元素管理委員会	53.10.27
共通第一次学力試験実施委員会	53.10.27
就職指導委員会	53.10.27
薬学部教授会	53.10.27
関連教育病院運営協議会	54.2.1
附属病院運営会議	54.4.1
電子計算機委員会	54.6.1
保険委員会	54.6.1
放射線部委員会	54.6.1
検査部委員会	54.6.1
給食委員会	54.6.1
手術部委員会	54.6.1

名 称	設置年月日
薬学部附属薬用植物園運営委員会	S54.6.1
材料部委員会	54.6.1
薬事委員会	54.7.1
婦長会議	54.8.20
肝炎予防対策委員会	54.8.20
防火管理委員会	54.10.1
感染予防対策委員会	55.5.1
附属病院連絡会議	56.4.27
医学部卒後教育検討委員会	56.5.27
動物実験センター運営委員会	56.9.1
大学院医学研究科委員会	57.4.1
放射線防護委員会	57.4.1
医学研究科教務委員会	57.4.20
廃棄物処理施設運営委員会 (廃棄物処理委員会 51.6.1~)	57.10.1
病歴部委員会	58.1.1
病理部委員会	58.1.1
フォトセンター委員会	58.1.1
リハビリテーション委員会	58.1.1
透析部委員会	58.1.1
輸血部委員会	58.1.1
保健管理センター運営委員会	58.5.1
組換えDNA実験安全委員会	58.5.1
将来計画懇談会	58.5.31
医療情報将来計画検討委員会	59.1.23
実験実習機器センター運営委員会	59.4.11
共同研究等委員会	59.5.1
公開講座委員会	59.10.13
交通委員会 (交通対策会議 55.4.25~)	60.2.1
国際交流委員会	60.3.28

11 諸 統 計

1) 歳入・歳出決算額

〔歳入〕

(単位：円)

会計名	年度		50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
	科目											
国立学校 特別会計	附属病院収入 授業料及び入学 検定料 雑収入		6,337,500	(昭和54年10月開院) 31,351,500 5,585,545	58,959,000 14,961,276	95,632,000 39,074,492	132,787,500 102,735,050	160,493,000 164,902,179	202,922,000 193,220,506	240,574,000 219,837,083	274,635,000 244,725,844	334,347,400 289,809,958
	計		6,337,500	36,937,045	73,920,276	134,706,492	608,024,663	3,195,659,009	4,742,127,992	5,657,109,767	6,221,405,216	6,395,588,605

〔歳出〕

(単位：円)

会計名	年度		50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
	科目											
一般 会計	文部本省					1,356,000	3,780,000	5,853,000	2,968,000	4,062,000	5,973,000	9,895,500
国立 学校 特別 会計	国立学校 大学附属 病院研 究所 施設整備費		103,129,617	719,646,054 1,219,578,117 12,640,482	1,171,946,929 1,171,946,929 12,640,482	1,272,261,978 1,272,261,978 143,219,919	2,261,978,628 2,261,978,628 733,120,004	2,594,808,800 2,594,808,800 4,597,489,467	3,027,182,882 3,027,182,882 5,914,935,602	2,968,748,201 2,968,748,201 5,549,780,010	3,050,448,913 3,050,448,913 6,004,585,489	3,215,142,430 3,215,142,430 6,521,114,498
	計		104,079,617	730,743,000 1,450,389,054 1,450,389,054	940,181,000 1,172,399,599 1,172,399,599	1,662,400,000 1,662,400,000 1,662,400,000	2,586,833,000 2,586,833,000 1,428,857,842	2,428,906,000 2,428,906,000 1,498,849,448	2,330,485,977 2,330,485,977 1,473,833,467	2,280,250,589 2,280,250,589 3,279,965,800	2,515,454,000 2,515,454,000 998,805,998	2,222,152,557 2,222,152,557 997,352,000
	計		104,079,617	1,450,389,054	1,172,399,599	1,666,958,748	2,637,149,855	3,129,855,301	4,476,801,467	5,332,027,800	6,811,971,293	10,965,656,985

2) 科学研究費補助金採択状況

(単位：千円)

年度等 研究種目	51		52		53		54		55		56		57		58		59	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
がん特別研究(2)					1	2,500			1	1,900	1	2,400	1	2,500	1	2,000	1	1,900
環境科学特別研究(1)															1	1,200	1	1,300
環境科学特別研究(2)															1	13,000	1	15,500
特定研究 (1)			1	600	2	1,200	2	1,700						1	1,100			
特定研究 (2)																		
総合研究 A					1	500								1	6,000	1	4,000	
一般研究 A					6	16,500	6	12,000	4	14,800	5	16,600	5	12,000	9	25,300	10	25,000
一般研究 B			1	3,000	4	6,900	7	10,090	9	11,000	17	21,400	20	23,200	16	14,300	17	18,400
一般研究 C	1	1,400	3	4,500														
一般研究 D					3	1,340	6	2,800	4	1,910								
奨励研究 A	1	290	2	700	6	2,330	13	9,490	14	11,300	14	11,100	13	10,100	10	7,750	19	15,600
試験研究 (1)					3	6,500	3	4,660	1	1,900	1	4,600			1	5,000	1	1,000
試験研究 (2)									3	4,800	2	5,100			3	10,000	3	3,300
海外学術調査															1	9,000	1	2,300
計	2	1,690	7	8,800	26	37,770	37	40,740	36	47,610	41	74,200	41	54,900	45	95,550	54	84,300

3) 学 生

(1) 入学定員および現員等

医学部医学科

現員は毎年5月1日現在

年度	入学 定員	総定員	現 員							卒業者数		医 師 国 家 試 験 合 格 者 数	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計	年度計	累 計		
51	100	100	100 (9)	—	—	—	—	—	100 (9)	—	—	—	
52	100	200	107 (16)	94 (9)	—	—	—	—	201 (25)	—	—	—	
53	100	300	106 (11)	106 (16)	91 (9)	—	—	—	303 (36)	—	—	—	
54	100	400	101 (6)	108 (11)	115 (16)	79 (9)	—	—	403 (42)	—	—	—	
55	100	500	112 (7)	96 (5)	113 (11)	106 (16)	76 (9)	—	503 (48)	—	—	—	
56	100	600	112 (5)	106 (7)	105 (6)	99 (12)	103 (14)	76 (9)	601 (53)	75 (9)	75 (9)	—	
57	100	600	114 (13)	108 (5)	104 (7)	102 (6)	93 (12)	104 (14)	625 (57)	102 (14)	177 (23)	75 (9)	
58	100	600	102 (21)	118 (13)	103 (5)	106 (7)	99 (6)	95 (12)	623 (64)	92 (12)	269 (35)	101 (14)	
59	100	600	101 (20)	116 (21)	104 (13)	107 (5)	102 (7)	102 (6)	632 (72)	102 (6)	371 (41)	93 (12)	
60	100	600	102 (19)	116 (22)	99 (19)	120 (13)	91 (5)	102 (7)	630 (55)				

() は女子で内数

薬 学 部

年度	学 科	入学 定員	総定員	現 員					卒 業 者 数		薬 剤 師 国家試験 合格者数	備考
				1年次	2年次	3年次	4年次	計	年度計	累 計		
51	薬 学 科	55	55	56 (43)	—	—	—	56 (43)	—	—	—	
	製薬化学科	50	50	49 (24)	—	—	—	49 (24)	—	—	—	
	計	105	105	105 (67)	—	—	—	105 (67)	—	—	—	
52	薬 学 科	55	110	65 (50)	46 (35)	—	—	111 (85)	—	—	—	
	製薬化学科	50	100	54 (28)	44 (22)	—	—	98 (50)	—	—	—	
	計	105	210	119 (78)	90 (57)	—	—	209 (135)	—	—	—	
53	薬 学 科	—	—	10 (4)	61 (48)	38 (31)	—	109 (83)	—	—	—	
	製薬化学科	—	—	15 (5)	46 (27)	37 (18)	—	98 (50)	—	—	—	
	計	105	315	130 (75)	107 (75)	75 (49)	—	312 (199)	—	—	—	
	薬 学 科	105	420	125 (62)	85 (59)	—	—	210 (121)	—	—	—	
54	薬 学 科	—	—	1	15 (0)	66 (51)	26※2	108 (83)	26 (22)	26 (22)	—	
	製薬化学科	—	—	—	22 (10)	46 (24)	28※5	96 (49)	28※4 (15)	28※4 (15)	—	
	計	105	420	126 (62)	122 (79)	112 (75)	54※7 (37)	414 (253)	54※4 (37)	54※4 (37)	—	
	薬 学 科	—	—	—	—	35 (24)	46※2 (37)	81 (61)	46※1 (37)	72※1 (59)	—	
55	製薬化学科	—	—	—	7 (2)	26 (13)	35※1 (19)	68 (34)	35 (19)	63 (34)	—	50 (34)
	計	105	420	127 (54)	122 (62)	130 (89)	81※3 (56)	460 (261)	81※5 (56)	135※5 (93)	—	
	薬 学 科	105	420	133 (45)	97 (50)	118 (63)	55 (46)	403 (204)	55 (46)	55 (46)	—	
	薬 学 科	—	—	—	—	1	33 (24)	34 (24)	33 (24)	105 (83)	—	71 (52)
56	製薬化学科	—	—	—	—	9 (12)	23※1 (13)	32 (15)	23 (13)	86 (47)	—	
	計	105	420	133 (45)	97 (50)	128 (65)	111※1 (83)	469 (243)	111 (83)	246 (176)	—	
	薬 学 科	105	420	122 (55)	107 (36)	105 (54)	99 (59)	433 (204)	98 (58)	153 (104)	—	
	薬 学 科	—	—	—	—	—	1	1	1	106 (83)	—	104 (77)
57	製薬化学科	—	—	—	—	3 (1)	6※1 (1)	9 (2)	6※1 (1)	92※6 (48)	—	
	計	105	420	122 (55)	107 (36)	108 (55)	106※1 (60)	443 (206)	105※1 (59)	351※6 (235)	—	
	薬 学 科	105	420	106 (51)	117 (53)	115 (38)	97 (53)	435 (195)	96 (52)	249 (156)	—	99 (60)
58	製薬化学科	—	—	—	—	—	2	2	2	94 (48)	—	
	計	105	420	106 (51)	117 (53)	115 (38)	99 (53)	437 (195)	98 (52)	449 (287)	—	
	薬 学 科	105	420	105 (53)	100 (49)	125 (56)	101 (35)	431 (173)	101 (35)	550 (322)	80 (43)	
59	薬 学 科	105	420	105 (46)	114 (55)	116 (54)	94 (47)	429 (202)				
60	薬 学 科	105	420	105 (46)	114 (55)	116 (54)	94 (47)	429 (202)				

() は女子で内数、※印は富山大学からの移管学生で外数。

(2) 入学試験状況一覧表

		入 学 定 員	入 学 志 願 者	受 験 者	入 学 者	入 学 者 の 内 訳						備 考		
						男	女	県内	県外	現役	浪人		その他	
51 年 度	医	医	100	608 (53)	483 (38)	100 (9)	91	9	28 (5)	72 (4)	29 (7)	71 (2)	0	
	薬	薬	55	125 (85)	108 (74)	56 (43)	13	43	18 (15)	38 (28)	45 (38)	11 (5)	0	
		製薬化	50	112 (46)	91 (38)	49 (24)	25	24	24 (15)	25 (9)	38 (21)	11 (3)	0	
		計	105	237 (131)	199 (112)	105 (67)	38	67	42 (30)	63 (37)	83 (59)	22 (8)	0	
52 年 度	医	医	100	595 (64)	458 (49)	101 (16)	85	16	31 (7)	70 (9)	37 (9)	64 (7)	0	
	薬	薬	55	255 (175)	204 (143)	55 (42)	13	42	28 (21)	27 (21)	50 (41)	5 (1)	0	
		製薬化	50	243 (97)	192 (79)	50 (27)	23	27	23 (14)	27 (13)	42 (24)	8 (3)	0	
		計	105	498 (272)	397 (222)	105 (69)	36	69	51 (35)	54 (34)	92 (65)	13 (4)	0	
53 年 度	医	医	100	568 (60)	461 (47)	102 (11)	91	11	23 (5)	79 (6)	31 (7)	71 (4)	0	
	薬	薬	55	235 (164)	202 (141)	58 (47)	11	47	31 (27)	27 (20)	50 (41)	8 (6)	0	
		製薬化	50	197 (72)	180 (64)	47 (19)	28	19	19 (9)	28 (10)	39 (17)	8 (2)	0	
		計	105	432 (236)	382 (205)	105 (66)	39	66	50 (36)	55 (30)	89 (58)	16 (8)	0	
54 年 度	医	医	100	※7(0) 1,074 (62)	※4(0) 1,017 (61)	100 (6)	94	6	12 (0)	88 (6)	18 (1)	82 (5)	0	
	薬	薬科	105	421 (187)	395 (179)	105 (55)	50	55	38 (27)	67 (28)	89 (53)	16 (2)	0	
55 年 度	医	医	100	496 (28)	470 (26)	100 (6)	94	6	16 (3)	84 (3)	11 (2)	89 (4)	0	
	薬	薬科	80	254 (105)	236 (94)	74 (35)	39	35	26 (14)	48 (21)	61 (30)	13 (5)	0	
			25	374 (151)	374 (151)	31 (11)	19	12	5 (2)	26 (10)	15 (7)	16 (5)	0	
		計	105	628 (256)	610 (245)	105 (46)	59	46	31 (16)	74 (30)	76 (36)	29 (10)	0	

	入 学 定 員	入 学 志 願 者	受 験 者	入 学 者	入 学 者 の 内 訳							備 考		
					男	女	県内	県外	現役	浪人	その他			
56 年 度	医	医	100	189 (6)	180 (6)	100 (5)	95	5	23 (2)	77 (3)	30 (4)	69 (1)	1 (0)	
	薬	薬 科	80	166 (66)	158 (64)	73 (30)	43	30	24 (11)	49 (19)	55 (23)	18 (7)	0	
			25	247 (100)	247 (100)	32 (11)	21	11	4 (3)	28 (8)	16 (9)	16 (2)	0	
	計	105	413 (166)	405 (164)	105 (41)	64	41	28 (14)	77 (27)	71 (32)	34 (9)	0		
57 年 度	医	医	100	※2(0) 721 (75)	※2(0) 690 (73)	100 (13)	87	13	16 (3)	84 (10)	28 (6)	72 (7)	0	
	薬	薬 科	80	136 (68)	127 (63)	73 (39)	34	39	20 (11)	53 (28)	58 (33)	15 (6)	0	
			25	201 (68)	201 (68)	32 (12)	20	12	9 (0)	23 (12)	11 (5)	21 (7)	0	
	計	105	337 (136)	328 (131)	105 (51)	54	51	29 (11)	76 (40)	69 (38)	36 (13)	0		
58 年 度	医	医	100	※2(0) 402 (64)	384 (61)	100 (21)	79	21	27 (7)	73 (14)	25 (13)	75 (8)	0	
	薬	薬 科	80	267 (123)	247 (115)	77 (40)	37	40	18 (10)	59 (30)	58 (33)	19 (7)	0	
			25	299 (121)	299 (121)	28 (11)	17	11	11 (4)	17 (7)	16 (7)	12 (4)	0	
	計	105	566 (244)	546 (236)	105 (51)	54	51	29 (14)	76 (37)	74 (40)	31 (11)	0		
59 年 度	医	医	100	※2(0) 241 (40)	236 (39)	101 (20)	81	20	41 (10)	60 (10)	33 (9)	67 (11)	1 (0)	
	薬	薬 科	80	※1(1) 269 (136)	※1(1) 260 (131)	77 (44)	33	44	29 (18)	48 (26)	58 (40)	19 (4)	0	
			25	179 (70)	179 (70)	28 (9)	19	9	7 (3)	21 (6)	14 (8)	14 (1)	0	
	計	105	※1(1) 448 (206)	※1(1) 439 (201)	105 (53)	52	53	36 (21)	69 (32)	72 (48)	33 (5)	0		
60 年 度	医	医	100	※2(1) 269 (45)	※1 258 (43)	101 (19)	82	19	30 (7)	71 (12)	29 (12)	72 (7)	0	
	薬	薬 科	80	※1(1) 236 (127)	227 (122)	78 (40)	38	40	23 (16)	55 (24)	57 (35)	21 (5)	0	
			25	180 (73)	180 (73)	27 (6)	21	6	10 (2)	17 (4)	12 (5)	15 (1)	0	
	計	105	※1(1) 416 (200)	407 (195)	105 (46)	59	46	33 (18)	72 (28)	69 (40)	36 (6)	0		

(3) 出身地別入学者数
医 学 部

出身地	入学年度 昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	計
北海道	1		1	2	2		3	(1) 1		(1) 2	(2) 12
青森県	1	1		1		1	1	2		1	8
岩手県		1								1	2
宮城県			1	1			1				3
秋田県	1		(1) 2							(1) 1	(2) 4
山形県		2								1	3
福島県		1			(1) 1			1	1		(1) 4
茨城県	1		2	3		2	1	1	(1) 2	1	(1) 13
栃木県	1	(1) 1	1	1	1	2	1	1	2	2	(1) 13
群馬県	6	(1) 6	(1) 5	2	2	1	(1) 2	(1) 4	(1) 4	3	(5) 35
埼玉県	1	2	6	1	8	5	1	(1) 2	(1) 5	3	(2) 34
千葉県	1		3	1	4	(1) 5	(1) 4		1	(1) 4	(3) 23
東京都	5	(2) 10	(1) 9	(1) 10	(1) 13	14	(1) 13	(1) 5	1	(2) 5	(9) 85
神奈川県	3	2	1	8	2	4	(2) 3	(1) 6	(1) 5	(1) 2	(5) 36
新潟県	4	3	4	2	7	3	3	4	(1) 1	(1) 6	(2) 37
富山県	(5) 28	(7) 31	(5) 23	12	(3) 16	(2) 23	(3) 16	(7) 27	(10) 41	(7) 30	(49) 247
石川県	(1) 18	9	(1) 9	(1) 9	(1) 12	6	12	(2) 8	10	(1) 5	(7) 98
福井県		(1) 2	4	7	2	1	4			(1) 1	(2) 21
山梨県	2	2	1			1	2			1	9
長野県	(1) 5	(2) 10	(1) 6	4	8	(1) 5	2	11	(1) 4	6	(6) 61
岐阜県	1	(1) 3	5	(1) 4		2	3	1	1	4	(2) 24
静岡県		1	5	2	1	1	5	(5) 11	(1) 3	(2) 3	(8) 32
愛知県	4	2	4	3	3	9	(2) 6	(2) 5	(2) 7	4	(6) 47
三重県	2	1		(1) 3	3	2	1		1	(1) 3	(2) 16
滋賀県	1		1		2			2			6
京都府		1	1	3	2	(1) 1	(1) 2	1	1		(2) 12
大阪府	(2) 6	1	4	(1) 9	4	5	2	2	6	2	(3) 41
兵庫県	4	1		(1) 5	2	2	4		1	3	(1) 22
奈良県				1			1				2
和歌山県						1		1		2	4
鳥取県											
島根県		1									1
岡山県		2		1	1						4

出身地	入学年度											計
	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度		
広島県						1	2	1				4
山口県			1				(1)	1			1	(1)
徳島県	2		(1) 2	1								(1) 5
香川県												
愛媛県		2		2			(1) 1		(1) 2			(2) 7
高知県		1										1
福岡県		(1) 1		1				1	2		1	(1) 6
佐賀県	1											1
長崎県					1	1					1	3
熊本県					1							1
大分県												
宮崎県					1	1	1					3
鹿児島県	1	1	1	1	1		1		1	2		9
沖縄県												
その他 (検 定)						1				1		2
計	(9) 100	(16) 101	(11) 102	(6) 100	(6) 100	(5) 100	(13) 100	(21) 100	(20) 101	(19) 101	(126) 1,005	

() は女子で内数

薬 学 部

出身地	入学年度											計
	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度		
北海道	3					(2) 6	(1) 2	3	2	(2) 4	(5) 20	
青森県				(1) 2		1	(2) 2	(2) 2	(1) 1		(6) 8	
岩手県		1				1				(1) 1	(1) 3	
宮城県	(1) 1	1				(1) 1	(1) 1				(3) 4	
秋田県		1			(1) 4	(1) 3	(2) 4	(1) 2	1		(5) 15	
山形県		(1) 1	(1) 1	(1) 2		2	1		(1) 2	1	(4) 10	
福島県	(1) 2	(1) 1	1	2			(1) 1	(1) 1	2	1	(4) 11	
茨城県	1	1			(1) 1	(1) 3	(1) 1	(4) 5			(7) 12	
栃木県	(1) 1	2		(1) 3	(1) 3	(1) 2	(2) 3	(2) 3	(1) 2	2	(9) 21	
群馬県	(1) 1	(2) 4	(1) 1	(1) 2	(1) 1	(2) 4	(1) 1	1	1	(2) 3	(11) 19	
埼玉県	(1) 2			1	1		1	(1) 2	2	(1) 1	(3) 10	
千葉県		2		1	(1) 1		(1) 1			(1) 2	(3) 7	
東京都				1	(2) 5	(1) 3	2		1	1	(3) 13	

入学年度 出身地	昭和 51年度	昭和 52年度	昭和 53年度	昭和 54年度	昭和 55年度	昭和 56年度	昭和 57年度	昭和 58年度	昭和 59年度	昭和 60年度	計
その他 (検 定)											
計	(67) 105	(69) 105	(66) 105	(59) 105	(46) 105	(41) 105	(51) 105	(51) 105	(53) 105	(46) 105	(545) 1050

() は女子で内数

(4) 大学院入学者数

	入学定員	総定員	53	54	55	56	57	58	59	60
医学研究科	30	120	—	—	—	—	26	15	22	15
薬学研究科										
博士前期課程	33	66	23	28	24	32	31	※ ³ 38	※ ¹ 34	※ ¹ 32
博士後期課程	14	42	※ ² 4	※ ¹ 5	※ ¹ 3	3	4	※ ³ 11	※ ¹ 7	※ ⁴ 11
計	77	228	27	33	27	35	61	64	63	58

※は外国人留学生で内数

(5) 国別外国人留学生数

60.4.17

	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	合 計
ブラジル	1		1				1	2	5
韓国	3	2	2	1	1	1	3	4	17
インドネシア	1	3	1						5
スリランカ		1	1	1	1				4
中国		1	2	7	5	5	4	4	28
イギリス			1						1
エジプト			1	1	1	2	2	2	9
バングラディッシュ						1	1	1	3
ネパール							1	1	2
イスラエル								1	1
フィリピン								1	1
ビルマ								1	1
合 計	5	7	9	10	8	9	12	17	77

(6) 奨学生数
。学部

年 度	学 生 数		日 本 育 英 会						その他の奨学金				計			
	医	薬	一般貸与		特別貸与		第一種奨学生		第二種奨学生		医	薬		計		
			医	薬	医	薬	医	薬	医	薬						
51	100	105	205	(9.0)	(5.7)	(6.0)	(13.3)	/	/	(15.0)	(19.0)	(5.0)	(1.9)	(20.0)	(21.0)	(20.5)
52	201	209	410	(10.0)	(8.6)	(8.5)	(16.3)	/	/	(18.4)	(24.9)	(4.0)	(1.4)	(22.4)	(26.3)	(24.4)
53	303	312	615	(9.6)	(11.2)	(10.2)	(20.5)	/	/	(19.8)	(31.7)	(2.3)	(1.6)	(22.1)	(33.3)	(27.8)
54	403	414	817	(10.2)	(11.8)	(10.7)	(22.2)	/	/	(20.8)	(34.1)	(4.5)	(2.7)	(25.3)	(36.7)	(31.1)
55	503	460	963	(10.9)	(10.9)	(11.3)	(22.2)	/	/	(22.3)	(33.0)	(5.0)	(3.3)	(27.2)	(36.3)	(31.6)
56	601	469	1,070	(11.1)	(9.8)	(12.1)	(22.2)	/	/	(23.3)	(32.0)	(4.8)	(3.8)	(28.1)	(35.8)	(31.5)
57	625	443	1,068	(9.4)	(10.6)	(12.6)	(21.2)	/	/	(22.1)	(31.8)	(5.3)	(3.8)	(27.4)	(35.7)	(30.8)
58	623	437	1,060	(8.5)	(9.4)	(12.8)	(19.5)	/	/	(21.3)	(28.8)	(5.1)	(3.2)	(26.5)	(32.0)	(28.8)
59	632	431	1,063	(7.3)	(7.4)	(11.1)	(13.9)	(3.8)	(6.5)	(1.1)	(0.5)	(6.3)	(2.6)	(29.6)	(30.9)	(30.1)
				46	32	70	60	24	28	7	2	147	11	187	133	320

() 内は、学生数に対する奨学生の割合を示す。

。大学院

年 度	学 生 数		日 本 育 英 会						他 の 奨 学 金				計		
	医 研究科	薬学研究科	薬学研究科		医学研究科		医学研究科		医学研究科		医 研究科	薬学研究科		計	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
53	/	23	4	27	(30.4)	(50.0)	(33.3)	/	/	(25.0)	/	(3.7)	(30.4)	(75.0)	(37.0)
54	/	50	6	56	(32.0)	(83.3)	(37.5)	/	/	0	0	0	(32.0)	(83.3)	(37.5)
55	/	51	7	58	(35.3)	(100.0)	(43.1)	/	/	(2.0)	0	(1.7)	(37.3)	(100.0)	(44.8)
56	/	56	8	64	(33.9)	(100.0)	(42.2)	/	/	0	0	0	(33.9)	(100.0)	(42.2)
57	26	63	11	100	(57.7)	(72.7)	(46.0)	0	0	0	0	0	(36.5)	(72.7)	(46.0)
58	39	63	15	117	(64.1)	(80.0)	(52.1)	0	0	0	0	0	(64.1)	(80.0)	(52.1)
59	59	69	17	145	(66.1)	(76.5)	(51.7)	0	0	0	0	0	(66.1)	(76.5)	(51.7)
					39	23	13	75	13	23	13	75	23	13	75

() 内は、学生数に対する奨学生の割合を示す。

(7) 大学院修了生数

	入学定員	総定員	53	54	55	56	57	58	59
医学研究科	30	120	—	—	—	—	—	—	—
薬学研究科									
博士前期課程	33	66		22	26	24	32	26	※ ² 36
博士後期課程	14	42			※ ² 2	※ ¹ 1	2	※ ¹ 3	3
計	77	228		22	28	25	34	29	39

※は外国人留学生で内数

4) 博士論文

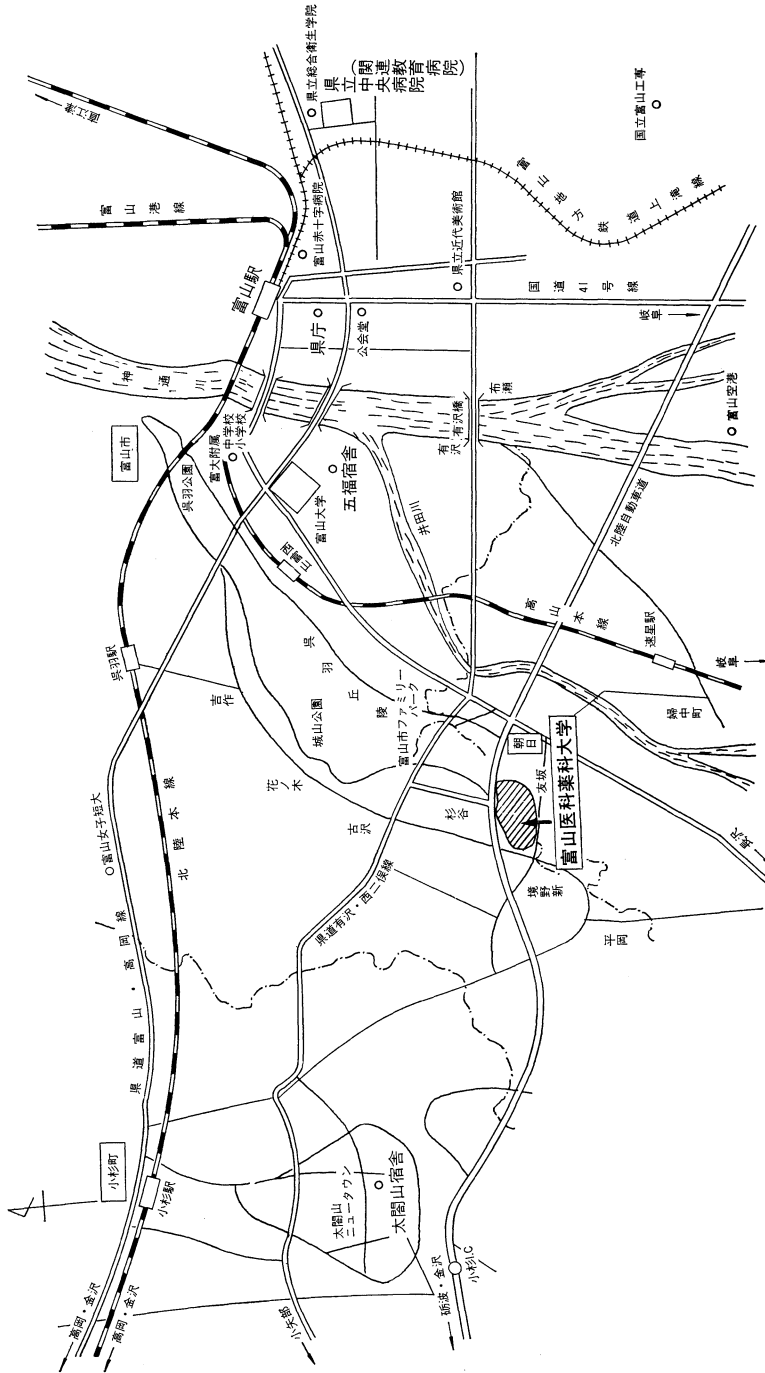
(1) 課程博士

学位記 番号	氏名・国籍 (生年月日)・(性別)	博士論文名	学位授与 年月日
薬博甲 第 1 号	金 溶 奎 (昭18.7.7生)(男) 韩国	男性ホルモン様作用の病態生化学的研究 —ジャコウ成分の薬理作用—	昭56.3.20
薬博甲 第 2 号	裴 基 煥 (昭21.2.15生)(男) 韩国	竹葉およびタケ科植物の生薬学的研究	昭56.3.20
薬博甲 第 3 号	林 俊 清 (昭25.7.16生)(男) 中国(台湾)	台湾産ラン科生薬の生薬学的研究	昭57.3.20
薬博甲 第 4 号	黒 川 昌 彦 (昭30.3.20生)(男)	癌原性化合物と細胞核蛋白質に関する研究	昭57.11.30
薬博甲 第 5 号	渋 谷 眞 也 (昭27.5.28生)(男)	大黃並びに Rhatannin の BUN 低下作用に関する研究	昭58.3.19
薬博甲 第 6 号	西 村 嘉 博 (昭29.8.24生)(男)	in vitro カエル胃粘膜の塩酸分泌機構	昭58.9.20
薬博甲 第 7 号	サミロ・アブザイド Samir Sayed Abu- Zaid エジプト (1949年12月3日生)男	光散乱法によるリポソームの粒子径と膜透過性	昭59.3.19
薬博甲 第 8 号	磯 部 正 治 (昭32.1.27生)(男)	消化性プロテアーゼの新しい活性化因子に関する研究	昭59.3.19
薬博甲 第 9 号	竹 内 俊 文 (昭30.11.2生)(男)	配位子交換溶媒抽出法によるアミノ酸対掌体の分離	昭59.9.20
薬博甲 第 10 号	藤 井 豊 (昭30.8.4生)(男)	ビルビン酸キナーゼアイソザイムの活性中心と細胞内プロテ アーゼによる活性の制御。	昭59.9.20
薬博甲 第 11 号	桃 井 啓 子 (昭32.8.20生)(女)	ベルベリンとアトロピン応答性体質の薬理遺伝学的研究	昭60.3.20

(2) 論文博士

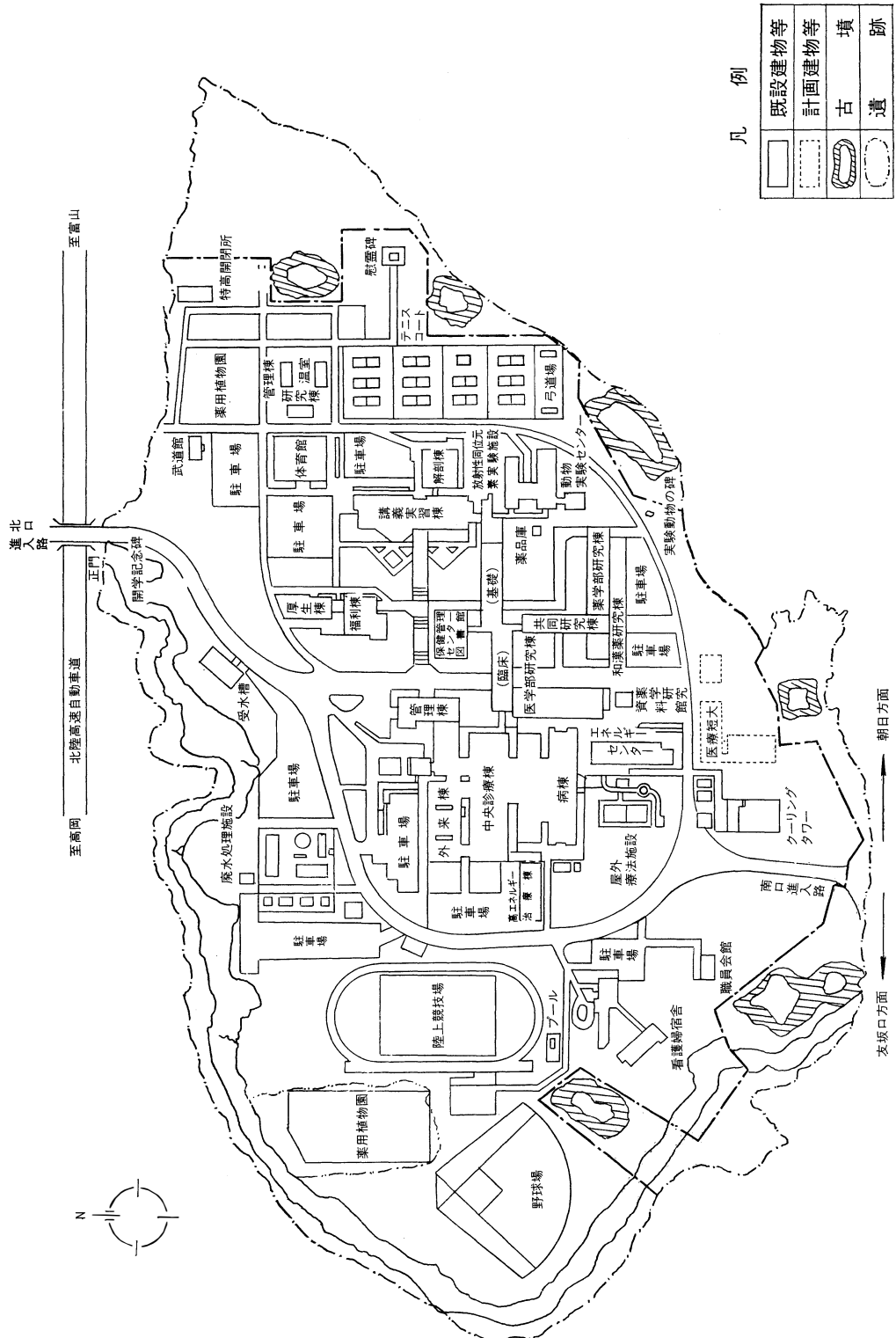
学位記号 番号	氏名・国籍 (生年月日)・(性別)	博士論文名	学位授与 年月日
薬博乙 第 1 号	久保一夫 (昭13.2.24生)(男)	鎮痛、抗炎症作用を有する 2 (IH)-Pyridone 系化合物の合成研究	昭57.3.20
薬博乙 第 2 号	竹部幸子 (昭24.12.14生)(女)	腸内菌による生体内尿素分解と腸内菌ウレアーゼの性質	昭58.3.19
薬博乙 第 3 号	浜田善利 (昭8.5.7生)(男)	貝類和漢薬の生薬学的研究	昭58.3.19
薬博乙 第 4 号	南法夫 (昭18.8.5生)(男)	三単糖から五単糖の立体制御合成	昭58.3.19
薬博乙 第 5 号	斉藤謙一 (昭24.8.21生)(男)	漢方方剤排膿散の薬理生薬学的研究	昭58.3.19
薬博乙 第 6 号	古林伸二郎 (昭26.11.5生)(男)	胆管平滑筋細胞における CCK 系 peptides. および関連弛緩 薬の作用機序に関する研究	昭58.3.19
薬博乙 第 7 号	村上学 (昭23.12.2生)(男)	鎖状ポリイソプレノイド系化合物の抗潰瘍作用に関する薬理 学的研究	昭58.3.19
薬博乙 第 8 号	山田敏廣 (昭23.4.17生)(男)	抗潰瘍薬を指向した Pyridazine 誘導体の合成と構造活性相 関	昭58.3.19
薬博乙 第 9 号	竹田芳香 (昭27.6.16生)(男)	実験的高コレステロール血症ラットおよびコレステロール胆 石症マウスにおける Clostridium butyricum の経口投与効果	昭58.6.29
薬博乙 第 10 号	米谷正 (昭25.12.29生)(男)	ピラノ・ナフトキノ系抗生物質の合成研究	昭58.7.27
薬博乙 第 11 号	布目慎男 (昭21.8.7生)(男)	漢薬地丁の生薬学的研究	昭58.10.17
薬博乙 第 12 号	御影雅幸 (昭23.10.7生)(男)	漢薬威靈仙の生薬学的研究	昭59.2.23
薬博乙 第 13 号	奥野勇 (昭13.2.22生)(男)	茵陳蒿の生薬学的研究	昭59.2.23
薬博乙 第 14 号	坂口一夫 (昭27.6.25生)(男)	ナタマメウレアーゼの活性発現に関与するアミノ酸残基の生 化学的研究	昭59.9.20
薬博乙 第 15 号	林忠男 (昭14.2.10生)(男) 中国(台湾)	台湾産植物の γ -ピロン系化合物の研究とその生理活性につ いて	昭59.9.20
薬博乙 第 16 号	稲垣建二 (大14.6.4生)(男)	昆虫和漢薬の生薬学的研究	昭59.9.20
薬博乙 第 17 号	横山弘臣 (昭28.9.24生)(男)	各種トリテルペノイドサポニンの下垂体副腎皮質系に対する 作用と構造活性相関ならびに作用機序に関する研究	昭59.9.20
薬博乙 第 18 号	木村昌行 (昭20.2.13生)(男)	市販製剤の凝血学的研究	昭59.9.20
薬博乙 第 19 号	上條哲聖 (昭22.1.11生)(男)	1-アシルイミダゾリウム塩の特性を利用する合成反応の研 究	昭59.12.20
薬博乙 第 20 号	渡邊卓司 (昭25.3.30生)(男)	各種 angiotensin 活性とその変換酵素阻害性抗高血圧薬の研 究	昭60.2.7

5) 施 設 等



(1) 位 置 図

(2) 建物等配置図



凡 例

	既設建物等
	計画建物等
	古 墳
	遺 跡

(3) 土地建物面積一覽表

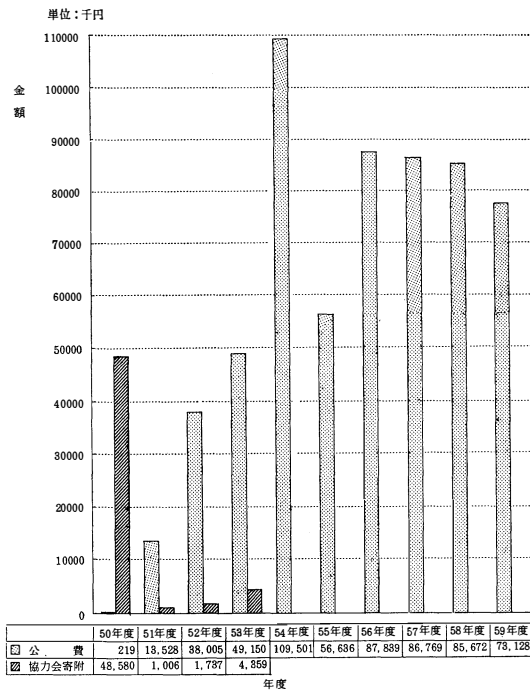
(昭和60年5月1日現在)

区 分	土 地	建 物		備 考	
		建 面 積	延 面 積		
杉 谷 地 区	事務局管理棟	㎡	877㎡	3,285㎡	
	講義実習棟		2,317	6,987	
	解剖棟		804	885	
	医学部研究棟		2,481	16,339	
	薬学部研究棟		879	5,981	
	和漢薬研究所研究棟		416	2,500	実験実習機器センター64㎡
	共同利用研究棟		544	2,980	実験実習機器センター1,001㎡
	附属病院		10,465	39,898	
	高エネルギー治療棟		1,038	1,038	
	附属図書館		790	2,843	保健管理センター280㎡
	薬用植物園	(18,428) 321,891	591	792	敷地17,585㎡
	R I 施設		1,632	4,311	1,275㎡
	動物実験センター				3,036㎡
	福利厚生棟		1,423	2,327	
	体育館		1,535	1,535	
	武道場		335	335	
	弓道場		125	125	敷地1,000㎡
	屋外運動施設				陸上競技場20,460㎡、野球場11,910㎡、テニス、バレーコート7,668㎡
	職員会館		107	185	
	機械室等		3,923	4,930	
看護婦宿舎		1,164	4,766	160戸	
五 福 地 区	借受宿舎	(7,017) 7,017	(1,221) 1,221	3,976	d型48戸
	職員宿舎C		87	87	e型1戸
太 閤 山 地 区	職員宿舎	11,584	2,249	7,983	b型72戸 c型54戸
	職員宿舎A・B	486	170	170	e型2戸
合 計	(25,445) 340,978	(1,221) 35,173	114,258		

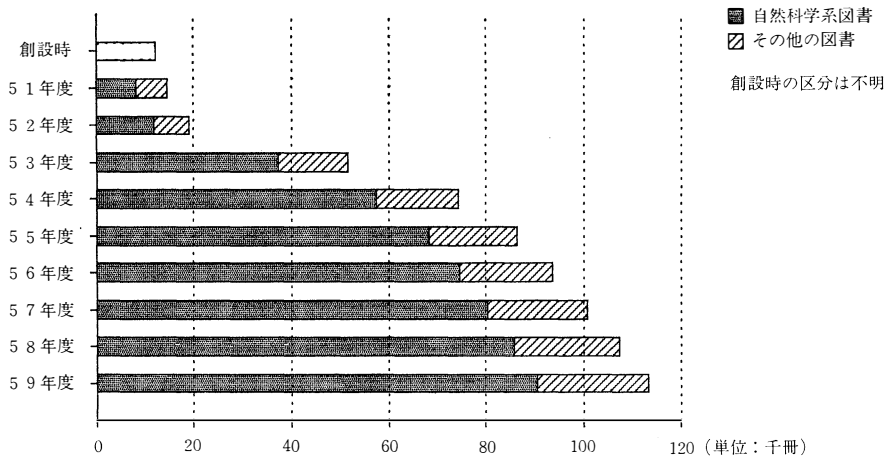
() は富山県より借受で内数

6) 附属図書館

(1) 資料費



(2) 蔵書構成の推移

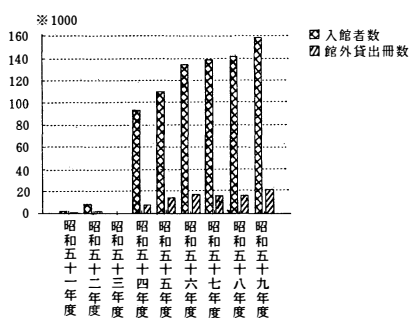


(3) 蔵書冊数

年度	分類別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	雑誌の 種類数
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学		
創設時	和											7,822	32
	洋											4,480	217
	計											12,302	249
51年度	和	304	533	338	1,145	5,202	15	1	431	1,128	594	9,691	365
	洋	193	39	24	193	3,002	1	6	27	1,302	19	4,806	495
	計	497	572	362	1,338	8,204	16	7	458	2,430	613	14,497	860
52年度	和	482	679	475	1,353	7,227	15	1	552	1,172	594	12,550	318
	洋	237	132	24	206	4,488	1	6	27	1,360	19	6,500	622
	計	719	811	499	1,559	11,715	16	7	579	2,532	613	19,050	940
53年度	和	1,239	1,021	1,061	2,330	20,559	1,649	460	705	1,341	1,145	31,510	499
	洋	488	170	34	294	16,798	705	115	43	1,427	116	20,190	777
	計	1,727	1,191	1,095	2,624	37,357	2,354	575	748	2,768	1,261	51,700	1,276
54年度	和	1,787	1,639	1,385	2,638	29,398	1,687	486	747	1,454	1,217	42,438	894
	洋	543	412	34	227	28,031	713	124	43	1,619	116	31,862	808
	計	2,330	2,051	1,419	2,865	57,429	2,400	610	790	3,073	1,333	74,300	1,702
55年度	和	1,993	1,792	1,480	2,779	33,930	1,725	499	803	1,571	1,388	47,960	1,012
	洋	567	446	34	229	34,327	714	124	43	1,769	117	38,370	941
	計	2,560	2,238	1,514	3,008	68,257	2,439	623	846	3,340	1,505	86,330	1,953
56年度	和	2,089	1,953	1,596	2,961	36,613	1,771	507	851	1,658	1,496	51,495	1,002
	洋	659	486	42	232	37,932	714	128	44	1,822	144	42,203	1,108
	計	2,748	2,439	1,638	3,193	74,545	2,485	635	895	3,480	1,640	93,698	2,110
57年度	和	2,190	2,067	1,744	3,310	38,766	1,822	518	867	1,713	1,630	54,627	1,140
	洋	731	518	44	236	41,509	729	130	46	1,883	192	46,018	1,350
	計	2,921	2,585	1,788	3,546	80,275	2,551	648	913	3,596	1,822	100,645	2,490
58年度	和	2,255	2,202	1,846	3,687	41,360	1,926	529	1,014	1,783	1,758	58,360	1,208
	洋	773	567	49	240	44,265	741	140	46	1,966	240	49,027	1,213
	計	3,028	2,769	1,895	3,927	85,625	2,667	669	1,060	3,749	1,998	107,387	2,421
59年度	和	2,437	2,414	1,964	3,858	43,244	1,961	536	1,087	1,866	1,863	61,230	1,226
	洋	826	639	56	247	47,138	743	142	48	2,018	282	52,139	1,505
	計	3,263	3,053	2,020	4,105	90,382	2,704	678	1,135	3,884	2,145	113,369	2,731

(4) 利用状況

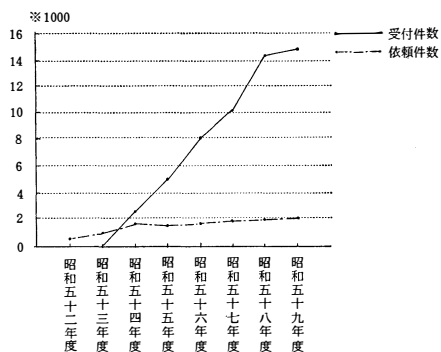
年度	入館者数	館外貸出冊数
昭和51年度	2,735	1,164
昭和52年度	8,694	2,216
昭和53年度	—	4,736
昭和54年度	93,803	8,214
昭和55年度	109,712	15,092
昭和56年度	134,386	17,864
昭和57年度	138,375	16,235
昭和58年度	140,848	16,246
昭和59年度	158,040	21,278



(5) 文献複写

	学外受付件数	学外依頼件数
昭和52年	0 (0)	420
昭和53年	13 (0)	910
昭和54年	2,527 (236)	1,635
昭和55年	5,001 (286)	1,527
昭和56年	8,136 (851)	1,689
昭和57年	10,255 (1,076)	1,841
昭和58年	14,403 (1,427)	1,973
昭和59年	14,824 (1,847)	2,127

() は相互貸借としての複写件数で内数。



7) 附 属 病 院

(1) 病 床 数

単位：床

区分		年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度
予 算 病 床			320	440	600	600	600	600
実 在 病 床	一病 般床	普通	329	441	592	592	592	592
		R I	10	10	10	10	10	10
	精 神 病 床		—	20	20	20	20	20
	計			339	471	622	622	622

(2) 診 療 科 別 病 床 数

単位：床

区分	年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度
第 一 内 科		25	35	40	40	47	47
第 二 内 科		25	35	40	40	47	47
第 三 内 科		25	35	40	40	47	47
皮 膚 科		13	13	17	17	12	12
小 児 科		27	27	34	34	28	28
神 經 科 精 神 科		25	20	38	38	38	38
放 射 線 科		10	10	16	16	10	10
第 一 外 科		26	36	40	40	47	47
第 二 外 科		25	25	40	40	47	47
腦 神 經 外 科		—	19	20	20	25	25
整 形 外 科		24	36	39	39	46	46
産 科 婦 人 科		25	25	40	40	38	38
眼 科		12	22	20	20	25	25
耳 鼻 咽 喉 科		14	22	24	24	27	27
泌 尿 器 科		16	16	24	24	27	27
麻 醉 科		4	4	5	5	5	5
齒 科 口 腔 外 科		4	8	5	5	10	10
和 漢 診 療 部		—	10	10	10	10	10
R I		—	—	—	10	10	10
共 通		39	73	130	120	76	76
計		339	471	622	622	622	622

(註) 昭和54年10月15日診療開始

(3) 診療科別患者延数

区分	入院患者延数						外来患者延数					
	昭和 54 年度	昭和 55 年度	昭和 56 年度	昭和 57 年度	昭和 58 年度	昭和 59 年度	昭和 54 年度	昭和 55 年度	昭和 56 年度	昭和 57 年度	昭和 58 年度	昭和 59 年度
第一内科	3,465	11,047	16,349	16,374	15,594	16,574	2,740	8,977	12,368	14,767	14,350	12,579
第二内科	4,286	12,694	16,894	16,514	16,278	14,674	2,977	10,486	14,578	16,463	18,009	17,037
第三内科	3,990	12,195	17,180	18,220	18,082	17,556	2,541	7,984	10,592	14,163	14,416	13,615
皮膚科	499	1,120	1,627	2,044	3,311	4,322	2,449	8,052	9,129	9,836	11,132	11,861
小児科	2,917	8,276	8,181	9,383	10,349	10,365	1,881	6,651	8,624	10,563	11,659	13,400
神経科精神科	994	4,797	7,938	10,539	11,056	11,103	950	3,147	4,394	4,699	5,574	5,609
放射線科	365	831	3,205	3,177	2,643	2,275	660	2,780	4,890	5,741	4,863	5,471
第一外科	3,859	11,646	15,996	16,424	16,243	16,939	691	3,122	4,032	4,537	5,055	5,215
第二外科	3,682	10,898	16,405	16,672	16,737	16,792	960	3,674	5,713	6,319	6,345	6,311
脳神経外科	—	6,670	9,574	10,729	10,350	9,579	—	2,564	4,130	5,152	4,967	4,590
整形外科	4,376	13,701	18,283	18,532	17,973	17,365	3,914	10,907	14,076	14,381	14,723	15,343
産科婦人科	1,678	5,931	9,613	10,079	13,022	15,152	1,156	4,539	5,885	6,654	8,188	8,802
眼 科	2,470	9,138	12,618	12,619	11,990	12,053	3,468	12,840	16,243	19,885	21,782	20,954
耳鼻咽喉科	1,190	6,187	8,882	9,436	9,564	10,083	2,424	8,212	10,556	12,496	13,325	13,556
泌尿器科	1,675	7,004	9,183	9,449	9,468	9,391	1,035	4,346	6,349	7,976	8,752	8,967
麻 酔 科	331	729	882	798	989	1,757	898	3,646	4,298	4,065	3,783	4,149
歯科口腔外科	641	1,666	1,979	2,276	3,533	4,812	1,737	4,966	6,789	6,103	7,574	8,170
和漢診療部	1,411	2,935	4,098	5,604	7,786	7,223	4,488	16,732	14,136	13,320	17,776	14,507
計	37,829	127,465	178,887	188,869	194,968	198,015	34,969	123,625	156,782	177,120	192,273	190,136
診療日数	日 169	日 365	日 365	日 365	日 366	日 365	日 135	日 296	日 297	日 297	日 298	日 296
一日平均数	人 223.8	人 349.2	人 490.1	人 517.4	人 532.7	人 542.5	人 259.0	人 417.7	人 527.9	人 596.4	人 645.2	人 647.4
稼 動 率	% 69.9	% 83.1	% 80.4	% 83.2	% 85.6	% 87.2						
・ 1日平均入院患者数 $\frac{\text{入院患者延数}}{\text{当該年度入院診療日数}}$			・ 1日平均外来患者数 $\frac{\text{外来患者延数}}{\text{当該年度外来診療日数}}$			・ 稼働率 $\frac{1日平均入院患者数}{\text{病床数}} \times 100$						

(4) 地域別患者数

新 入 院 患 者 数

単位：人

年 度		昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度
区 分							
富 山 県	東 部	495	2,168	2,624	2,578	2,746	2,386
	西 部	182	986	1,213	1,441	1,685	1,945
石 川 県		5	34	24	34	45	40
新 潟 県		18	109	237	275	319	353
岐 阜 県		5	50	129	132	143	105
その他の都道府県		13	60	103	102	138	129
合 計		718	3,407	4,330	4,562	5,076	4,958

外 来 患 者 延 数

単位：人

年 度		昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度
区 分							
富 山 県	東 部	13,820	82,409	101,580	109,941	114,721	101,770
	西 部	5,988	36,295	47,292	57,754	67,071	77,869
石 川 県		149	977	1,070	1,171	1,279	1,161
新 潟 県		204	1,288	2,962	4,167	4,716	4,945
岐 阜 県		78	1,051	2,078	2,275	2,287	1,987
その他の都道府県		185	1,605	1,800	1,812	2,199	2,404
合 計		20,424	123,625	156,782	177,120	192,273	190,136

(注一) 東部：富山市，滑川市，婦負郡，上新川郡，中新川郡，魚津市，黒部市，下新川郡

西部：高岡市，新湊市，射水郡，氷見市，小矢部市，西砺波郡，砺波市，東砺波郡

(注二) 昭和54年度は55年1月～55年3月分の患者数である。

(5) 臨床検査件数

単位：件

区 分	一 般	血液学	微生物	血清学	臨床化	生理機	採 血	内視鏡	生物学的	病理学	その他	合 計
年 度	検 査	的検査	学検査	検 査	学検査	能検査	採液等	検 査	的検査	的検査		
昭和54年度	10,875	72,133	7,281	16,557	142,515	6,464	2,882	793	—	1,282	10,744	271,526
昭和55年度	120,658	214,929	17,511	69,023	487,475	35,237	1,079	3,847	2,673	5,496	88,119	1,046,047
昭和56年度	137,654	246,967	23,904	82,409	625,417	38,156	1,483	4,830	2,968	7,436	107,263	1,278,479
昭和57年度	142,273	297,310	30,744	98,216	749,471	46,983	1,285	6,066	3,867	7,662	122,161	1,506,038
昭和58年度	147,258	308,221	26,057	105,949	817,570	52,284	1,976	6,429	3,434	9,097	124,707	1,602,982
昭和59年度	163,332	329,020	26,821	105,905	851,179	44,051	3,415	6,630	3,843	9,636	125,042	1,668,874

(6) 手術件数および麻酔件数

単位：件

区分 年度	手 術 件 数								麻 酔 件 数		
	0～ 999点	1,000～ 2,999点	3,000～ 4,999点	5,000～ 9,999点	10,000～ 14,999点	15,000～ 19,999点	20,000点 以上	計	0～ 999点	1,000点 以上	計
昭和54年度	304	199	121	180	57	11	2	874	274	358	632
昭和55年度	542	635	433	579	207	22	56	2,474	657	1,315	1,972
昭和56年度	371	589	526	681	355	109	84	2,715	699	1,418	2,117
昭和57年度	689	641	591	701	338	107	100	3,167	1,199	1,802	3,001
昭和58年度	459	611	597	797	344	113	88	3,009	1,194	1,849	3,043
昭和59年度	604	693	644	875	382	136	90	3,424	1,212	1,789	3,001

(7) X線診断件数およびR I検査件数

単位：件

区分 年度	患者数	X 線 診 断 件 数			R I 検 査 件 数	
		撮影件数	透視件数	計	インビボ	インビトロ
昭和54年度	9,075人	49,310	2,422	51,732	799	4,467
昭和55年度	28,451	146,271	3,514	149,785	2,978	19,673
昭和56年度	49,502	166,712	8,038	174,750	3,986	28,940
昭和57年度	44,984	181,153	10,099	191,252	4,086	37,367
昭和58年度	45,910	173,387	7,918	181,305	3,998	36,010
昭和59年度	41,763	160,079	4,460	164,539	4,220	33,803

(8) リハビリテーション件数

単位：件

区分 年度	運 動 療 法	作 業 療 法	機 器 器 具 を 用 いた 機 能 訓 練	水 中 機 能 訓 練	温 熱 療 法	変 形 徒 手 矯 正 術	徒 手 筋 力 検 査	ク ロ ナ キ ン ー	換 気 量 測 定	換 気 量 測 定 (最大)(強制)	ギ プ ス シ ー ネ	ギ プ ス 採 型 粉	介 達 牽 引	腰 椎 牽 引	計
昭和54年度	—	—	1,469	74	1,130	139	50	2	—	—	2	1	—	56	2,923
昭和55年度	6,734	—	2,363	283	1,214	4	128	4	—	—	7	32	—	565	11,334
昭和56年度	11,414	1,165	—	—	—	111	24	—	—	—	24	40	—	269	13,047
昭和57年度	10,310	2,719	—	—	—	—	—	2	—	—	16	26	467	—	13,540
昭和58年度	9,127	2,472	—	60	3,336	—	—	4	16	16	12	12	855	743	16,653
昭和59年度	8,750	2,940	—	—	—	—	—	1	—	1	10	14	540	—	12,256

(9) 分娩件数

単位：人

区分 年度	正 常 分 娩		異 常 分 娩		合 計
	成 熟 児	未 熟 児	成 熟 児	未 熟 児	
昭和54年度	20	0	3	1	24
昭和55年度	73	4	9	9	95
昭和56年度	89	8	37	12	146
昭和57年度	143	1	9	26	179
昭和58年度	134	2	28	39	203
昭和59年度	168	6	28	29	231
合 計	627	21	114	116	878

(10) 年度別処方せん枚数

単位：枚

区分 年度	入 院	外 来	計
昭和54年度	15,291	18,991	34,282
昭和55年度	45,269	71,038	116,307
昭和56年度	40,597	84,419	125,016
昭和57年度	54,928	112,114	167,042
昭和58年度	64,342	138,451	202,793
昭和59年度	70,450	127,970	198,420
合 計	290,877	552,983	843,860

(11) 死亡患者数および病理解剖件数

区分 年度	死 亡 患 者 数			病 理 解 剖 件 数			剖 検 率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
昭和54年度	21人	5人	26人	13件	1件	14件	61.9%	20.0%	53.8%
昭和55年度	101	44	145	61	25	86	60.4	56.8	59.3
昭和56年度	143	78	221	78	41	119	54.5	52.6	53.8
昭和57年度	161	109	270	(2) 103	(2) 72	(4) 175	64.0	66.1	64.8
昭和58年度	182	87	269	(3) 102	(3) 45	(6) 147	56.0	51.7	54.6
昭和59年度	155	88	243	80	52	132	51.6	59.1	54.3

② () 書は死産等を外数で示す。